

平成31年度 講義計画書

担当講師:越川 善子

科目名・対象学科	基礎実技Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	前期	実技
一般目標(GIO)			
灸の基礎知識を学ぶとともに、安全面と衛生面の知識を深め、施灸部位の形状、艾炷の大きさの形、ひねりの硬軟、施灸の速度などを組み合わせて、段階的に練習する。艾炷を作り出す基本動作や線香による点火の反復練習により習得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
灸の基礎知識 1)灸の材料について 2)線香について 3)リスク管理 灸の基本実技 1)灸術の種類(透熱灸・知熱灸)について 2)艾炷の大きさ(米粒、半米粒)について 3)竹、紙の上への施灸練習			灸術の種類 米粒、半米粒の大きさ 透熱灸、知熱灸 竹、紙上への施灸練習 リスク管理
成績評価	授業態度、定期試験、課題提出で評価する。		
教科書・副読本	はりきゅう理論、はりきゅう実技(基礎編)		
受講上の注意	白衣を着用すること。竹、紙上への施灸の反復練習をし、課題を提出すること。出席が5分の4に達しない者は受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:北村 菜

科目名・対象学科	総合実技 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前期	実技
一般目標(GIO)			
経絡経穴で学習した経穴を実際に取り穴し理解する。経絡の走行や走行上の筋肉の触診技術も理解する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>人体の構造を解剖学的に理解する。</p> <p>1) 解剖学的肢位・方向・解剖学的用語・体表指標等について理解できる。</p> <p>2) 骨度法・同身寸法について理解し、実践できる。</p> <p>経絡・経穴を実際に触れて確認する。</p> <p>1) 体表指標・骨度法等を用いて取穴を行える。</p> <p>2) 十四経脈に属する経穴の取穴を行える。</p> <p>3) 経絡走行上の筋肉・神経を学習する。</p>			<p>解剖学的肢位、内方、外方</p> <p>上方、下方、近位、遠位</p> <p>骨度法、同身寸法</p> <p>十四経脈、経穴</p>
成績評価	取穴実技テストで評価する。内容によっては筆記テストも併せて行う。		
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「経絡経穴概論」「解剖学」 資料配布		
受講上の注意	全出席を原則とする。授業内容によってはハーフパンツを着用する。 授業中はやるべきことの認識をし、目的外の行動をしないこと。 実技室の使用上のルールは厳守すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:北村 菜

科目名・対象学科	東洋医学概論 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前期	座学
一般目標(GIO)			
東洋医学の基礎を理解し、鍼灸を行う上での基礎知識を身に付ける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>東洋医学の基礎を理解する。</p> <p>1) 東洋医学における人体の成り立ちについて理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天人合一思想、陰陽学説、五行学説について理解できる。 <p>2) 東洋医学の基礎理論について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生体物質、蔵象、神の生理について理解し、それぞれの役割を説明できる。 ・経絡の概念について理解できる。 <p>3) 東洋医学における病因について理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外感病因、内傷病因、その他の病因について理解できる。 			<p>天人合一思想</p> <p>互根、制約、消長、転化</p> <p>可分、相生、相克、相乗</p> <p>相侮、気、血、津液、精</p> <p>五臓、六腑、奇恒の腑</p> <p>正経、奇経、六淫、飲食不節</p> <p>劳逸、房事過多、病理産物</p>
成績評価	定期試験(筆記)で評価する。また、授業の進行に合わせ小テストを行い加点する。		
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」		
受講上の注意	全出席を心がけ、授業をしっかり聞くこと。 資料配布を行うため資料管理を適切に行うこと。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 大野 亜二茂

科目名・対象学科	基礎実技 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前期	実技
一般目標(GIO)			
実技室の使い方や各種消毒方法、鍼の理解や操作法など、鍼術の基礎を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
(1) 実技室の使い方を理解できる ・手洗い場、ワゴンの使用方法などルールに従って実技室を使用できる (2) 各種消毒法を理解できる ・手指消毒、患部消毒を適切に行える (3) 鍼・鍼管の種類や各種刺法、挿管法について理解できる (4) 片手挿管を適切に操作できる (5) 刺入動作を適切に行える ・押手、刺手、前揉捻、後揉捻、旋撚術、切皮、抜鍼などを対物、対人に危険なく行える			ラビング法、スワブ法 番手、銀鍼、ステンレス鍼 現行十七術、片手挿管 旋撚術、送り込み刺法 押手、刺手、前揉捻 後揉捻、切皮、抜鍼
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。		
教科書・副読本	はりきゅう実技〈基礎編〉		
受講上の注意	全出席を原則とし、出席が5分の4に満たないものは期末試験の受験資格を失う。 授業中はやるべきことの認識をし、目的外の行動はしないこと。 実技室の使用上のルールは厳守すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:星野 祐一

科目名・対象学科	経絡経穴概論 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前期	座学
一般目標(GIO)			
鍼灸師に必要な経絡経穴を理解し、他の科目や臨床に関係する大切な基礎知識として学習する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>経絡経穴の概要を理解する。</p> <p>①経絡経穴の誕生と臓腑との関係、概要を説明できる。</p> <p>経絡経穴の誕生 臓腑との関係 経絡の流注や種類 経穴の種類、寸法、要穴、禁鍼穴禁灸穴を理解できる。</p> <p>②経絡経穴に必要な解剖学的用語、体表指標、体表区分を説明できる。</p> <p>取穴の際に必要な解剖学的肢位、方向に関する用語、 体表指標、体表区分を理解できる。</p> <p>③十四経脈と各経絡の経穴名、取穴部位・取り方、要穴、流注を説明できる。</p> <p>督脈、任脈の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手の太陰肺経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手の陽明大腸経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>足の陽明胃経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>足の太陰脾経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手の少陰心経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手の太陽小腸経流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p>			<p>経絡、経穴</p> <p>臓腑</p> <p>骨度法 同身寸法</p> <p>五要穴(原郄絡募兪穴)</p> <p>五行穴(井榮兪經合穴)</p> <p>四総穴 八会穴 八脈交会穴</p> <p>下合穴 禁鍼穴禁灸穴</p> <p>解剖学的肢位</p> <p>体表指標・区分</p> <p>督脈・任脈</p> <p>手の太陰肺経</p> <p>手の陽明大腸経</p> <p>足の陽明胃経</p> <p>足の太陰脾経</p> <p>手の少陰心経</p> <p>手の太陽小腸経</p>
成績評価	定期試験(筆記)80%と小テスト(筆記)20%の合計100%で評価する。 小テストは各経絡が終了時におこなう。(授業の進捗状況も考慮する)		
教科書・副読本	指定教科書「新版 経絡経穴概論」		
受講上の注意	全出席と原則とする。 授業内容によっては白衣やハーフパンツに着替え、実技室でおこなう。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 金 世野

科目名・対象学科	解剖学 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前期	座学
一般目標(GIO)			
運動器系の基礎となる骨を立体的に理解し、関節構造や運動学の基礎を学ぶ。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>第10章 運動器系 総論</p> <p>1.骨格系 骨の形状、骨の連結、関節の種類、運動を理解する。 医学用語、名称などに慣れ、理解できる。</p> <p>2.脊柱の構造 椎骨の基本構造及び機能を理解する。 頸椎、胸椎、腰椎、仙椎、尾椎、各椎骨の構造と機能の違いを理解する。</p> <p>3.胸郭 胸郭を構成する骨と軟部組織を理解する。 肋骨と肋軟骨の構造、胸郭の運動と全体像を把握する。</p> <p>4.上肢の骨格 上肢の構成する骨と軟部組織を理解する。 鎖骨、肩甲骨、上腕骨、橈骨、尺骨、手の骨、各骨の構造と関節を理解する。</p> <p>5.下肢の骨格 下肢の構成する骨と軟部組織を理解する。 寛骨、大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨、足の骨、各骨の構造と関節を理解する。</p> <p>6.頭蓋骨 頭蓋骨の全体像と各骨を理解する。 前頭骨、頭頂骨、後頭骨、側頭骨、蝶形骨、上顎骨、下顎骨、頬骨、涙骨、篩骨 鋤骨、口蓋骨、各骨の構造と関節、それらに付随する孔や管を理解する。</p>			<p>顆、結節、稜、頭、頸、切痕、棘、粗面</p> <p>屈曲、伸展、外転、内転、外旋、内旋</p> <p>関節、靭帯</p> <p>骨細胞、シャープピー線維、ハバース管</p>
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、授業中の確認試験(小テスト)、提出物などの総合評価とする。		
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、イラスト解剖学(中外医学社)、トートラ人体の構造と機能(丸善出版)人体の正常構造と機能(日本医事新報社)		
受講上の注意	全出席することを原則とする、また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:門田 哲夫

科目名・対象学科	からだの仕組み I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前 期	座 学
一般目標(GIO)			
呼吸、消化・吸収、排泄、内分泌などのような生命を維持したり、種を保存したりするからだの仕組み(正常な構造と機能)を理解し、主な内臓器疾患、内分泌疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療につなげるための基礎知識を学ぶ。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>内臓器・内分泌器の構造と機能について理解する。</p> <p>1) 上気道・下気道、肺の構造と機能を説明できる。</p> <p>2) 胸膜・縦郭の構造と機能を説明できる。</p> <p>3) 口腔、消化管、消化腺の構造と機能を説明できる。</p> <p>4) 腹膜の構造と機能を説明できる。</p> <p>5) 腎臓と尿路の構造と機能を説明できる。</p> <p>6) 男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。</p> <p>7) ヒトの初期発生と胎盤の構造と機能を説明できる。</p> <p>8) 内分泌器官の構造と機能を説明できる。</p>			<p>鼻腔、咽頭・喉頭</p> <p>気管・気管支、肺、縦隔</p> <p>口腔、食道、胃、小腸、大腸</p> <p>肝臓、胆嚢、膵臓</p> <p>腎臓、尿管、膀胱、尿道</p> <p>内生殖器、外生殖器</p> <p>受精、胚葉の形成</p> <p>下垂体、松果体、甲状腺</p> <p>副腎、膵臓、性腺</p>
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	社団法人東洋療法学校協会編 解剖学(第2版) (医歯薬出版)		
受講上の注意	全出席することを原則とし、授業内容をよく聴講してノートをしっかり取ること。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:安納 弘道

科目名・対象学科	解剖学Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前期	座学
一般目標(GIO)			
循環器系は、血液を介して全身の細胞に必要な物質を供給するとともに、細胞より生じた老廃物を体外へ排出し体のホメオスタシスの保持に寄与している。これらの循環器系を構成する臓器の正常構造と機能を理解し、主な循環器疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療につなげるための基礎知識を学			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
(1)循環器系の基本的な生理機能について説明できる。			循環器系
(2)大循環と小循環について説明できる。			大循環・小循環
(3)血管の種類とその基本構造について説明・図説できる。			血管の構造
(4)毛細血管の種類とその特徴について説明できる。			毛細血管
(5)心臓の肉眼的・組織学的構造について説明できる。			心臓の構造
(6)心臓の刺激伝導系について説明できる。			心臓の刺激伝導系
(7)心電図の原理と波形について説明できる。			心電図
(8)大動脈の区分と主な枝及び灌流域について説明できる。			大動脈
(9)頭部・頸部の動脈の走行とその枝について説明できる。			頭頸部の動脈
(10)上肢の動脈の走行とその枝について説明できる。			上肢の動脈
(11)胸腹部の動脈の走行とその枝について説明できる。			胸腹部の動脈
(12)骨盤の動脈の走行とその枝について説明できる。			骨盤内の動脈
(13)下肢の動脈の走行とその枝について説明できる。			下肢の動脈
(14)頭部・頸部の静脈の走行と合流する静脈について説明できる。			頭頸部の静脈
(15)上肢の静脈の走行と合流する静脈について説明できる。			上肢の静脈
(16)門脈について説明できる。			門脈
(17)骨盤の静脈について説明できる。			骨盤内の静脈
(18)下肢の静脈の走行と合流する静脈について説明できる。			下肢の静脈
(19)胎児循環について説明できる。			胎児の血液循環
(20)リンパ性器官の種類とその機能及び組織学的特徴について説明できる。			リンパ系とリンパ性器官
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	教科書:社団法人東洋療法学校協会編 解剖学(第2版) (医歯薬出版)		
受講上の注意	全出席することを原則とし、講義内容よく聴講してノートをしっかり取ること。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:小林 康孝

科目名・対象学科	健康科学		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前 期	座 学
一般目標(GIO)			
生命維持の必須機能に恒常性維持があり、生理学の中心課題になる。加えて、生体の持つ特徴に生体適応が挙げられる。それは、適切な生体刺激による機能の向上として捉えられる。この「健康科学」では、体力の維持・増進ならびに健康づくりに必要なスポーツ(医)科学の基礎と応用について学ぶ。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
健康科学における次の概要を整理・理解する。 1) 健康づくり運動 の概要を説明できる。 2) 運動性貧血 の概要を説明できる。 3) スポーツ心臓 の概要を説明できる。 4) 呼吸系への運動効果 の概要を説明できる。 5) 筋グリコーゲン増量法 の概要を説明できる。 6) 運動強度の把握法 の概要を説明できる。 7) 運動量の把握法 の概要を説明できる。 8) 運動時の腎機能 の概要を説明できる。 9) 暑熱下の運動 の概要を説明できる。 10) 運動時の内分泌調節 の概要を説明できる。 11) 運動性無月経 の概要を説明できる。 12) 骨への運動効果 の概要を説明できる。 13) 筋への運動効果 の概要を説明できる。 14) 運動調節 の概要を説明できる。 15) 運動の習熟 の概要を説明できる。			健康日本21、ルーの3原則 献血、高地トレーニング 血圧変動、心拍出量 換気量、肺でのガス交換 消化・吸収、BMI 酸素摂取量、METS エネルギー平衡、歩・走運動 体液浸透圧、体液量 体熱平衡、暑熱順化 ストレス応答、副腎 性周期、卵胞ホルモン 骨形成、骨吸収 遅筋、速筋 随意運動、不随意運動 前庭動眼反射、筋紡錘
成績評価	筆記試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	教科書は、特に指定しない。「生理学」「解剖学」の教科書が参考書になる。		
受講上の注意	講義内容を板書するので、受講者は聴いて・見て・書いての作業を繰り返して科学的法則性を整理・理解する。したがって、[出席]はノート提示を必要条件とする。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 黒崎 直子

科目名・対象学科	からだの働き I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	前期	座学
一般目標(GIO)			
人体(循環系、呼吸系、消化系)の機能とその調節について理解し、実践の場で必要となる疾患の診断と治療につなげるための基礎知識を学ぶ。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>細胞レベルから組織・器官・器官系まで、構造と機能を体系的に理解する。</p> <p>1) 人体を構成している細胞の構造と機能について説明できる。</p> <p>・細胞小器官のそれぞれのはたらきが理解できる。</p> <p>2) 血液の組成と働きについて説明できる。</p> <p>・血液細胞と血漿の働きが理解できる。</p> <p>3) 心臓の働きと調節機構について説明できる。</p> <p>・血圧の調節機構が理解できる。</p> <p>4) 呼吸器の機能について説明できる。</p> <p>・呼吸運動とその調節が理解できる。</p> <p>5) 消化器の構造について説明できる。</p> <p>・消化管の運動とその調節が理解できる。</p>			<p>生命現象</p> <p>細胞膜、細胞小器官</p> <p>遺伝子、物質代謝</p> <p>血液凝固、線維素溶解</p> <p>血液型、リンパ系</p> <p>心周期、心機能の調節</p> <p>血管、心電図</p> <p>内呼吸と外呼吸、ガス交換</p> <p>呼吸と酸塩基平衡</p> <p>消化器系</p> <p>消化管運動</p>
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	指定教科書「生理学」		
受講上の注意	全出席することを原則とし、授業内容よく聴講してノートをしっかり取ること。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:金 世野

科目名・対象学科	解剖学Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	後 期	座 学
一般目標(GIO)			
運動器系の基礎となる筋を立体的に理解し、起始、停止、支配神経、作用を理解すると共に運動学の基礎を学ぶ。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>第10章 運動器系 総論</p> <p>1.筋系 筋の形、運動ニューロン、筋の補助装置を理解する。 医学用語、名称などに慣れ、理解できる。</p> <p>2.体幹の筋の基本構造及び機能を理解する。 浅胸筋、深胸筋、腹筋群、浅背筋、深背筋の構造と機能の違いを理解する。</p> <p>3.上肢の筋の基本構造及び機能を理解する。 上肢支帯の筋、上腕の筋、前腕の筋、手内筋の構造と機能の違いを理解する。</p> <p>4.下肢の筋の基本構造及び機能を理解する。 下肢支帯の筋、大腿の筋、下腿の筋、足の筋の構造と機能の違いを理解する。</p> <p>5.頭頸部の筋の基本構造及び機能を理解する。 表情筋、咀嚼筋、頸部の筋の構造と機能の違いを理解する。</p>		<p>起始、停止、支配神経、作用</p> <p>鎖骨胸筋三角、鼠経管</p> <p>腰三角、後頭下三角</p> <p>聴診三角、腰三角、</p> <p>ローテータ・カフ、</p> <p>内側腋窩隙、外側腋窩隙</p> <p>手根管、ギヨン管、伸筋支帯</p> <p>上伸筋支帯、下伸筋支帯</p> <p>スカルパ三角、大腿輪</p> <p>内転筋管</p> <p>梨状筋下孔、梨状筋上孔</p> <p>前頸三角、後頸三角</p> <p>顎下三角、頸動脈三角</p> <p>筋三角、斜角筋隙</p>	
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、授業中の確認試験(小テスト)、提出物などの総合評価とする。		
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、イラスト解剖学(中外医学社)、トートラ人体の構造と機能(丸善出版)人体の正常構造と機能(日本医事新報社)		
受講上の注意	全出席することを原則とする、また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:大野 亜二茂 (A) /北村 菜 (B)

科目名・対象学科	基礎実技Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	実技
一般目標(GIO)			
実技室の使い方や各種消毒方法、鍼の理解や操作法など、鍼術の基礎を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
(1)実技室の使い方を理解できる ・手洗い場、ワゴンの使用方法などルールに従って実技室を使用できる (2)各種消毒法を理解できる ・手指消毒、患部消毒を適切に行える (3)捻鍼法を安全に対人で行える (4)ステンレス鍼を用いた刺入動作を適切に行える ・押手、刺手、前揉捻、後揉捻、切皮、送り込み刺法、抜鍼などを対人に危険なく行える (5)人体各部に応じた適切な深度・角度で刺入を行える		ラビング法、スワブ法 番手、銀鍼、ステンレス鍼 現行十七術、片手挿管 旋撚術、送り込み刺法 押手、刺手、前揉捻 後揉捻、切皮、抜鍼 直刺、斜刺、横刺 水平刺、交叉刺	
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。		
教科書・副読本	はりきゅう実技〈基礎編〉		
受講上の注意	全出席を原則とし、出席が5分の4に満たないものは期末試験の受験資格を失う。 授業中はやるべきことの認識をし、目的外の行動はしないこと。 実技室の使用上のルールは厳守すること。 違反した場合は退出させ、欠席扱いとするので注意すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:野澤 隆幸

科目名・対象学科	総合領域 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	後 期	演 習
一般目標(GIO)			
鍼灸師にとって必要な知識であるはりきゅう理論、あんま・はり・きゅうの歴史を学習する。 鍼や灸の歴史や基本的な知識を学ぶことで鍼灸師となる素地を養う。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>はりきゅう理論(東洋療法学校協会編 医道の日本社)を教科書として活用し、はりきゅう理論の基礎を学ぶ。以下の範囲について学習する。</p> <p>第1章 概 論 第2章 鍼の基礎知識 第3章 刺鍼の方式と術式 第4章 特殊鍼法 第5章 灸の基礎知識 第6章 灸術の種類 第7章 鍼灸の臨床応用 第8章 リスク管理</p> <p>新版 漢方の歴史(あじあボックス)を教科書として使用し、あんま・はり・きゅうの歴史を学ぶ。以下の範囲を学習する。</p> <p>第一章 中国医学の形成、第二章 よみがえる古代医学の遺物、第三章 神農伝説と『神農本草経』、第四章 『黄帝内経』と陰陽五行説、第五章 張仲景の医学、第六章 六朝隋唐医学と日本、第七章 宋の医学と日本、第八章 金元明清の医学と日本、第九章 江戸時代の医学、第十章 日本から中国へ</p>		<p>鍼灸施術の意義 鍼尖の形状、鍼の材質、古代九鍼 撚鍼法、管鍼法 小児鍼、円皮鍼 灸の材料 有痕灸、無痕灸 刺激量、感受性、適応症 鍼療法の過誤と副作用、消毒</p>	
成績評価	小テスト、提出物、定期試験の成績などによって総合的に評価する。		
教科書・副読本	はりきゅう理論(東洋療法学校協会編 医道の日本社)、新版 漢方の歴史(あじあボックス)		
受講上の注意	全出席を基本とし、全授業時間の2/3以上の出席を満たさない場合には定期試験の受験資格を失う。この講義計画書は総合領域 I の授業のうち野澤隆幸担当分のみとする。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:北村 菜

科目名・対象学科	東洋医学概論Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	座学
一般目標(GIO)			
東洋医学の基礎を理解し、鍼灸を行う上での基礎知識を身に付ける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>東洋医学の基礎を理解する。</p> <p>1) 東洋医学の基礎理論について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経絡の概念について理解できる <p>2) 東洋医学における病因について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外感病因、内傷病因、その他の病因について理解できる <p>3) 八綱弁証、気血津液弁証、臓腑の病理について理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病の表裏、虚実、寒熱、陰陽について理解できる ・生体物質の病理について理解できる ・臓腑の生理作用を踏まえ、臓腑の病理について理解できる <p>4) 内生五邪について理解する</p>			<p>十二正経、奇経八脈</p> <p>外邪、六淫、疫癘、飲食不節</p> <p>情志失調、劳逸、房事過多</p> <p>病理産物、外傷、表裏、寒熱</p> <p>虚実、陰陽、弁証、弁別</p> <p>内生五邪</p>
成績評価	定期試験(筆記)で評価する。また、授業の進行に合わせ小テストを行い加点する。		
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」		
受講上の注意	全出席を心がけ、授業をしっかりと聞くこと。 資料配布を行うため資料管理を適切に行うこと。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 小山田 幸永

科目名・対象学科	外国語		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	座学
一般目標(GIO)			
鍼灸及び医療に関する英語表現を身につけ、実際に運用する力をつける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
医療用語や鍼灸に関する英語表現を学び、使えるようになる。			
1) 鍼灸師が使う英語表現を理解し、発音出来る。		東洋医学と西洋医学	
2) 鍼灸師が使う英語表現を身につけ、自分の言葉として言えるようになる。		鍼灸、経穴、経絡、灸	
3) 医療英単語の構造を理解する。		切除術、切開術、吻合術	
4) 接頭辞、接尾辞、語根の概念を理解する。		腫瘍、炎症、疾患	
5) 臓器など消化器系の重要語彙を理解し、言えるようになる。		肝臓、すい臓、腸	
6) 腎臓など泌尿器系の重要語彙を理解し、言えるようになる。		腎臓、尿管、尿道、膀胱	
7) 子宮など婦人科系の重要語彙を理解し、言えるようになる。		卵巣、卵管、子宮、乳房	
8) 尿など体に関する物質の重要語彙を理解し、言えるようになる。		尿、血液、結石、脂肪	
9) 心臓など循環器系の重要語彙を理解し、言えるようになる。		心臓、血管、動脈、静脈	
10) 気管支など呼吸器系の重要語彙を理解し、言えるようになる。		肺、気管支、咽頭、喉頭	
11) 大脳など脳神経系の重要語彙を理解し、言えるようになる。		神経、脳、脊髄、髄膜	
12) 関節など筋・骨格系の重要語彙を理解し、言えるようになる。		骨、軟骨、関節、骨髄、筋肉	
13) 目や耳など感覚器官の重要語彙を理解し、言えるようになる。		鼓膜、鼻腔、網膜	
14) 乳房撮影など撮影・検査・測定・治療の重要語彙を理解し、言えるようになる。		撮影機器、撮影法、撮影図	
15) 腹部など体の各部分と方向の重要語彙を理解し、言えるようになる。		頸部、腹部、腰部、背腹部	
16) 鍼灸をはじめ医療に関する英文を理解し、知識として生かせるようになる。			
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、授業中の確認試験(小テスト)、提出物などの総合評価とする。		
教科書・副読本	指定教科書「最新医学用語演習<改訂新版>」(南雲堂)、副読本「東洋医学で英語を学ぶ」(医歯薬出版)、副読本「鍼灸マッサージ師のための英会話ハンドブック」(医道の日本社)		
受講上の注意	毎回の授業をしっかりと聴講し、単語の発音練習を積極的に行う。また、私語、無断欠席、無断遅刻、無断写真撮影、無断途中退出は認めない。日直は、必ず授業前に職員室に来ること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:門田 哲夫

科目名・対象学科	からだの仕組みⅡ		鍼灸科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	座学
一般目標(GIO)			
<p>情報を受容し、処理し、それを統合し、出力するからだの仕組みである神経系・感覚器系の正常な構造と機能を理解し、主な感覚器疾患、神経系疾患の病態生理、原因、症候、診断と治療につなげるための基礎知識を学ぶ。</p>			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>神経系、感覚器系の構造と機能について理解する。</p> <p>1) 中枢神経系、末梢神経系の構造と機能を説明できる。</p> <p>2) 脊髄神経の構造と機能を説明できる。</p> <p>3) 脳と脊髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>4) 大脳の構造と機能を説明できる。</p> <p>5) 脳室と髄膜の構造と機能を説明できる。</p> <p>6) 脳神経系の構造と機能を説明できる。</p> <p>7) 自律神経系の構造と機能を説明できる。</p> <p>8) 感覚器の構造と機能を説明できる。</p>			<p>脳と脊髄、脳・脊髄神経</p> <p>神経叢、脊髄神経後枝</p> <p>脳幹と小脳、間脳</p> <p>大脳葉、大脳溝、大脳回</p> <p>脳室系、クモ膜下腔</p> <p>感覚性、運動性、副交感性</p> <p>交感・副交感神経系</p> <p>視覚・平衡聴覚・味覚器</p>
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	社団法人東洋療法学校協会編 解剖学(第2版) (医歯薬出版)		
受講上の注意	全出席することを原則とし、授業内容をよく聴講してノートをしっかり取ること。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:稲田 久

科目名・対象学科	衛生学・公衆衛生学 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1 年	後 期	座 学
一般目標(GIO)			
将来、はり師・きゅう師として活躍するために必要な衛生学・公衆衛生学の基本的な内容を理解し、卒業時に受験する国家試験に対応できる基本的知識を習得することを目標とする。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>1) 衛生学・公衆衛生学の意義と健康の定義について健康管理、環境などの観点から学ぶ。 衛生学・公衆衛生学の発展の流れ、WHOの健康の定義、日本国憲法第25条(生存権)を理解したか。 1～3次予防、集団検診、衛生行政の概要を理解できているか。 食品と運動と健康の関連性、主な食中毒の概要とその分類を理解できているか。 物理・化学・生物学的、社会的環境要因、主な地球環境問題を理解できているか。</p> <p>2) ライフステージ別、対象別の保健について学ぶ。 職業病、母子保健・精神保健政策、生活習慣病と高齢者保健の概要を理解したか。</p> <p>3) 他科目の内容も含めて「感染症」および「消毒」についての基本を学ぶ。 様々な病原微生物による主な感染症の概要と感染症法による分類、予防接種を覚えられているか。また、主な物理的・化学的消毒法を理解し、医療現場で応用できるか。</p> <p>4) 公衆衛生学の研究のベースとなる疫学と保健統計について基本的な事項を学ぶ。 疫病の頻度の測定法と、疫学調査研究の方法について理解できたか。 人口統計など、わが国の主な保健統計と指標を理解できているか。</p>		<p>健康の定義、病気と健康、 健康管理、衛生行政、 食・運動と健康、生態系 環境要因、地球環境問題 職業病、生活習慣病、 感染症の分類、物理・化学 的消毒法、記述疫学と分析 疫学、人口統計と保健統計</p>	
成績評価	定期試験に加え、出席状況などを勘案した総合評価とする。		
教科書・副読本	指定教科書「衛生学・公衆衛生学(第6版 医歯薬出版)」他に資料(プリント)を配布することがある。		
受講上の注意	幅広いジャンルを扱う科目なので、普段から興味を持って自ら学んでいく、という姿勢が大切です。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:星野 祐一

科目名・対象学科	経絡経穴概論Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	座学
一般目標(GIO)			
鍼灸師に必要な経絡経穴を理解し、他の科目や臨床に関係する大切な基礎知識として学習する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>経絡経穴の概要を理解する。</p> <p>①前期の内容を確認。</p> <p>前期に学習した内容を確認し、後期の学習に役立てる。</p> <p>②経絡経穴に必要な解剖学的用語、体表指標、体表区分を説明できる。</p> <p>取穴の際に必要な解剖学的肢位、方向に関する用語、体表指標、体表区分を理解できる。</p> <p>③十四経脈と各経絡の経穴名、取穴部位・取り方、要穴、流注を説明できる。</p> <p>足太陰脾経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手少陰心経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>足太陽膀胱経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>足少陰腎経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手厥陰心包経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>手少陽三焦経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>足少陽胆経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>足厥陰肝経の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>奇経八脈の流注、経穴名、取穴部位・取り方、要穴を理解できる。</p> <p>奇穴の経穴名、取穴部位・取り方、を理解できる。</p>		<p>経絡、経穴</p> <p>臓腑</p> <p>骨度法 同身寸法</p> <p>五要穴(原郄絡募俞穴)</p> <p>五行穴(井榮俞経合穴)</p> <p>四総穴 八会穴 八脈交会穴</p> <p>下合穴 禁鍼穴 禁灸穴</p> <p>解剖学的肢位</p> <p>体表指標・区分</p> <p>足太陰脾経 手少陰心経</p> <p>足太陽膀胱経 足少陰腎経</p> <p>手厥陰心包経</p> <p>手少陽三焦経 足少陽胆経</p> <p>足厥陰肝経 奇経八脈</p> <p>奇穴</p>	
成績評価	科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	指定教科書「新版 経絡経穴概論」		
受講上の注意	全出席と原則とする。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:塩田 尚人

科目名・対象学科	コミュニケーション		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	座学
一般目標(GIO) 社会人及び医療関係者として必要なコミュニケーション能力を身に付けるとともに、対面会話や会議、プレゼンテーション、文章作成などの基礎的なスキルアップを図る。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
多様なコミュニケーションスキルを身に付ける。 1) コミュニケーションの基礎を理解できる。 ・心理学的な観点からコミュニケーションの基本が理解できる。 2) 対面での対人とのコミュニケーション能力を習得できる。 ・社会人としての要素である対人での会話ができる。 3) 文章やメール、SNSで適切なコミュニケーションを図ることができる。 4) 一般常識としての敬語や言葉遣いを身に付けることができる。 5) 組織人としてのビジネス会話の基礎を習得できる。 6) 関連企画の立案とそのプレゼンテーションができる。 7) グループワークをしながら会議でのコミュニケーション能力を習得する。 8) 医療現場を想定した利用者対応能力を身に付ける。		コミュニケーション基礎 心理学的要素 対人会話のスキルアップ 文書・SNSのマナー 敬語や言葉遣い ビジネス会話 プレゼンテーション 会議・グループワーク 医療現場での利用者対応	
成績評価	定期試験、授業態度（出席状況）、プレゼンテーション、課題レポートなどの総合評価とする。		
教科書・副読本	毎回テキストとしてオリジナルプリントを配布		
受講上の注意	できる限り出席することを原則とし、授業内容をよく聴講してノートをしっかりとのこと。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:黒崎 直子

科目名・対象学科	からだの働きⅡ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	座学
一般目標(GIO)			
人体(消化系、排泄系、内分泌系、生殖系)の機能とその調節について理解し、実践の場で必要となる疾患の診断と治療につなげるための基礎知識を学ぶ。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>代謝の機能とその調節を体系的に理解する。</p> <p>1) 栄養素を吸収するしくみを説明できる。</p> <p>・吸収された栄養素の代謝に重要な肝臓の働きが理解できる。</p> <p>2) 生体内に取り込まれた栄養素の働きを説明できる。</p> <p>・栄養素の代謝が理解できる。</p> <p>3) 体温の調節機構を説明できる。</p> <p>・体熱の産生と放射の仕組みが理解出来る。</p> <p>4) 腎臓の機能について説明できる。</p> <p>・尿の生成と細胞外液の調節が理解できる。</p> <p>5) 内分泌系による生体機能の調節について説明できる。</p> <p>・ホルモンの特徴と作用について理解できる。</p> <p>6) 生殖機能の特徴と成長期、老年期の特徴を説明できる。</p> <p>・男女それぞれに特有の生殖機能が理解できる。</p>			<p>消化液分泌</p> <p>各種栄養素の吸収</p> <p>エネルギー代謝、基礎代謝</p> <p>食事摂取基準</p> <p>核心温度、体温の変動</p> <p>発汗、セットポイント</p> <p>腎血流量、糸球体濾過</p> <p>尿細管の再吸収と分泌</p> <p>ホルモン分泌の階層的支配</p> <p>フィードバック機構</p> <p>生殖器の働き、精子形成</p> <p>卵子形成、成長、老化</p>
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	指定教科書「生理学」		
受講上の注意	全出席することを原則とし、授業内容よく聴講してノートをしっかり取ること。また、疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:北村 菜

科目名・対象学科	総合実技Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	実技
一般目標(GIO)			
経絡経穴で学習した経穴を実際にと穴し理解する。経絡の走行や走行上の筋肉の触診技術も理解する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>人体の構造を解剖学的に理解する。</p> <p>1)解剖学的肢位・方向・解剖学的用語・体表指標等について理解できる。</p> <p>2)骨度法・同身寸法について理解し、実践できる。</p> <p>経絡・経穴を実際に触れて確認する。</p> <p>1)体表指標・骨度法等を用いて取穴を行える。</p> <p>2)足太陰脾経、手少陰心経、手太陽小腸経、足太陽膀胱経、足少陰腎経、手厥陰心包経、手少陽三焦経、足少陽胆経、足厥陰関係に属する経穴の取穴を行える。</p> <p>3)経絡走行上の筋肉・神経を学習する。</p>		<p>解剖学的肢位、内方、外方</p> <p>上方、下方、近位、遠位</p> <p>骨度法、同身寸法</p> <p>十四経脈、経穴</p>	
成績評価	取穴実技テストで評価する。内容によっては筆記テストも併せて行う。		
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「新版 経絡経穴概論」「解剖学」資料配布		
受講上の注意	全出席を原則とする。授業内容によってはハーフパンツを着用する。授業中はやるべきことの認識をし、目的外の行動をしないこと。実技室の使用上のルールは厳守すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:越川 善子

科目名・対象学科	基礎実技IV		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	1年	後期	実技
一般目標(GIO)			
灸の基本実技の復習をしながら臨床に向けての応用実技を学ぶ。安全面と衛生面を再確認し、人体に施灸できるように練習する。灸療法の過誤、副作用の対策と処理を理解する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
灸の基本実技 1) 灸の基本動作の復習 2) 竹、紙の上への施灸(米粒、半米粒) 3) 人体への施灸 灸の応用実技 1) 灸療法の適応、禁忌 2) 灸療法の過誤と副作用 3) 灸術の種類(温灸、隔物灸)			竹、紙の上への施灸 米粒、半米粒の大きさ 透熱灸、知熱灸 リスク管理 温灸、隔物灸
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、提出物(宿題)などの総合評価とする。		
教科書・副読本	はりきゅう理論、はりきゅう実技(基礎編)		
受講上の注意	白衣を着用すること。 出席が5分の4に達しない者は受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 稲田 久

科目名・対象学科	生理学 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2 年	前期	座学
一般目標(GIO)			
・当該分野を理解し、その知識に基づいて生体におこる事象を予測し理由を推論出来るようになる。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<ul style="list-style-type: none"> ・排泄 尿の生成の機序、酸塩基濃度と電解質の調節の機序とその意義 ・内分泌 ホルモンの種類と働き、分泌の調節。 ・生殖／成長／老化 男性生殖器、女性生殖器 成長と老化 		<ul style="list-style-type: none"> 糸球体、ろ過、腎血漿流量 糸球体濾過量、尿管、蓄尿 排尿反射、下腹神経 骨盤神経、陰部神経 階層的支配 負のフィードバック 視床下部 下垂体 甲状腺、副甲状腺 副腎髓質、副腎皮質 精巣、卵巣 性反射、卵巣周期 月経周期(子宮内膜周期) 妊娠、分娩、乳汁分泌 	
成績評価	期末テストにおいて評価する。		
教科書・副読本	生理学の教科書。		
受講上の注意	教科書持参。私語禁止。居眠り禁止。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 稲田 久

科目名・対象学科	生理学Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	座学
一般目標(GIO)			
・当該分野を理解し、その知識に基づいて生体におこる事象を予測し理由を推論出来るようになる。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<ul style="list-style-type: none"> ・筋 筋肉の一般 <ul style="list-style-type: none"> 骨格筋の構造 筋の収縮 筋の物理的性状 心筋と平滑筋 ・身体運動 <ul style="list-style-type: none"> 骨格筋の神経支配、運動調節、脊髄レベルでの運動調節 ・生体防御 疾病に対する防御 			横紋筋、随意筋、筋原線維 T管、筋小胞体、白筋線維 赤筋線維、I帯、A帯 アクチンフィラメント ミオシンフィラメント 等張性収縮、等尺性収縮 単収縮、強縮、トーンス α 運動ニューロン γ 運動ニューロン 錘内筋、錘外筋、伸張反射 拮抗抑制、屈曲反射 交叉性伸展反射 長脊髓反射 除脳固縮、錐体路 錐体外路 炎症 細胞性免疫 液性免疫
成績評価	期末テストにおいて評価する。		
教科書・副読本	生理学の教科書。		
受講上の注意	教科書持参。私語禁止。居眠り禁止。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 武井 航

科目名・対象学科	生理学Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	座学
一般目標(GIO)			
生理学分野における神経、感覚の項目につき学習し、理解を深める。 鍼灸師として必要となる知識を習得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>生理学 第3版(東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社)を基本とし、プリント等を配布して授業を行う。学習範囲は、第10章および第13章とする。</p> <p>第10章 神経 10-A ニューロンの構造と働き 神経細胞の構造と働きを理解し、説明できる。 10-B 神経線維の興奮伝導 興奮の伝導のメカニズムと特徴について理解し、説明できる。 10-C シナプス伝達 シナプスにおける情報伝達の特徴を理解し、説明できる。 10-D 中枢神経系の分類と機能 中枢神経系の構造と機能を理解し、説明できる。 10-E 反射 反射の特徴を理解し、説明できる。 10-F 脊髄 脊髄の構造と働きを理解し、説明できる。 10-G、H、I、J、K、L 脳幹、小脳、視床、視床下部、大脳、脳脊髄液 中枢神経系の各部の構造と機能を理解し、説明できる。 10-M 末梢神経系 末梢神経系の特徴を理解し、説明できる。 10-N 自律神経系 自律神経の特徴を理解し、説明できる。</p> <p>第13章 感覚 13-A 感覚の分類と一般的性質 一般的な感覚の特徴について理解し、説明できる。 13-B 体性感覚 触圧覚、温度感覚、深部感覚などについて理解し、説明できる。 13-C 内臓感覚 内臓器官から生じる感覚について理解し、説明できる。 13-D 痛覚 鍼灸臨床において重要な痛覚について理解し、説明できる。 13-E、F、G、H 味覚と嗅覚、聴覚、平衡感覚、視覚 各特殊感覚器の構造と機能について理解し、説明できる。</p>			<p>神経細胞体、軸索、グリア細胞 静止電位、活動電位 伝導の三原則、跳躍伝導 神経線維の分類 シナプス伝達の特徴 神経伝達物質 反射弓、反射中枢 白質、灰白質、脊髄反射 ベル・マジャンディーの法則 脊髄神経、脳神経 交感神経、副交感神経 一般感覚と特殊感覚 表在感覚、深部感覚 順応、伝導路 内臓痛 痛みの分類、内因性発痛物質 特殊感覚の性質、伝導路 聴覚器、視覚器</p>
成績評価	定期試験の成績および行った小テストの成績によって評価する。		
教科書・副読本	生理学 第3版(医歯薬出版株式会社)		
受講上の注意	全出席を基本とし、全授業時間の3/2以上の出席を満たさない場合には定期試験の受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 豊 久美

科目名・対象学科	東洋医学臨床 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2 年	前 期	座 学
一般目標(GIO)			
整形外科的疾患について、その症候や疾患に対する現代医学的な考え方・東洋医学的考え方の診かた・考え方を理解し、両医学の診断のプロセス、それぞれの医学理論に基づく治療原則・治療計画・治療法を学習する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>整形外科的疾患を実際に身近に起こる事象などに照らし合わせながら学ぶ。</p> <p>1) 治療総論 現代医学的な観点、東洋医学的な観点から疾病を見つめる。 1) 現代医学的治療原則・治療計画・予後の判定などを学ぶ 2) 整形外科疾患についても東洋医学的観点から見直す。</p> <p>2) 上肢の疾患、腰下肢の疾患などの主要症候について学び、現代医学・東洋医学双方の観点からとらえることができる。 ① 上肢の疾患 ② 腰下肢の疾患 ③ スポーツ医学における鍼灸療法</p> <p>3) 老年医学と鍼灸療法について学ぶ。 老年期の特徴や疾患、それに鍼灸はどう関わるのかを学ぶ。</p>			<p>症候の概念、治療法 適応・注意を要するもの 東洋医学的な考え方 現代医学的な考え方 治療方針 配穴法 経穴 老年医学</p>
成績評価	出席状況、授業態度、提出物、期末テストを総合して評価する。		
教科書・副読本	東洋医学臨床論(はりきゅう編)		
受講上の注意	欠席日数が全体の1/3を超すと受験資格がなくなる。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 大野 亜二茂

科目名・対象学科	臨床医学総論		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	座学
一般目標(GIO)			
現代医学的診察法に関する知識を学習する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1) 診察の概要 2) 予後について 3) 診察の順序 4) 診察の方法 5) 視診、触診、打診、聴診 6) 生命徴候について 7) 顔貌、顔色 8) 精神状態 9) 言語 10) 身体計測 11) 体型、体格 12) 姿勢と体位 13) 歩行 14) 皮膚、粘膜の変化 15) その他の一般的状態			診察の意義 予後、転帰、自覚症状 医療面接、身体診察 主訴、現病歴、既往歴 清音、鼓音、濁音 体温、脈拍、血圧、呼吸 ヒポクラテス顔貌、仮面様顔貌 日本昏睡尺度(JCS) 構音障害、失語症 四肢の長さと同径 巨人症、低身長症 マンウェルニッケ肢位 異常歩行 蒼白、チアノーゼ 食欲、睡眠
成績評価	授業態度、欠席を考慮したうえで、期末試験で評価する。		
教科書・副読本	臨床医学総論 東洋医学療法学校協会		
受講上の注意	欠席数が超過したものは受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:大野 亜二茂

科目名・対象学科	生体観察		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	実技
一般目標(GIO)			
臨床現場で患者の症状を把握し、治療計画を立てる上で必要となる検査や治療技術を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1)脳神経の診察			輻輳反射、眼球運動検査
2)脳神経麻痺に対するの鍼灸治療			顔面運動検査
3)血圧の測定			リンネ試験、ウェーバー試験
4)鍼灸施術に対するの血圧の変動			三叉神経痛に対する治療
5)血圧の測定			顔面神経麻痺に対する治療
6)鍼灸施術に対するの血圧の変動			突発性難聴に対する治療
7)期末試験①			触診法、聴診法
8)期末試験②			体幹刺激による変動 末端刺激による血圧の変動
成績評価	授業態度、欠席を考慮したうえで、期末試験で評価する。		
教科書・副読本	臨床医学総論 東洋療法学校協会、配布プリント		
受講上の注意	欠席数が超過したものは受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 金 世野

科目名・対象学科	応用実技 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2 年	前 期	実 技
一般目標(GIO)			
鍼通電療法、鍼低周波治療器を理解するために電気の基本的な知識を身につけるとともに鍼低周波治療器の使い方を身につける。さらに筋の起始、停止、支配神経、作用を視覚的に確認し、解剖学の知識をより深めるとともに実技の危険部位や危険深度の理解を深める。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>1. 下肢の筋 下腿、大腿部の前面、後面の筋 筋の起始停止、支配神経、作用の理解度を深める。</p> <p>2. 上肢の筋 上腕、前腕、の前面、後面の筋 筋の起始停止、支配神経、作用の理解度を深める。</p> <p>3. 体幹の筋(下部) 腰部、臀部の筋 筋の起始停止、支配神経、作用の理解度を深める。</p> <p>4. 体幹の筋 (上背部) 肩甲間部、肩甲上部の筋 筋の起始停止、支配神経、作用の理解度を深める。 危険部位、危険深度を視覚的に理解する。</p> <p>5. 腰痛症に対する治療 筋筋膜性・椎間関節性の腰痛症に対する鍼通電療法を理解する。</p>			<p>起始、停止、支配神経、作用 ランドマーク、気胸</p>
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、提出物などの総合評価とする。		
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、イラスト解剖学(中外医学社)、トートラ人体の構造と機能(丸善出版)人体の正常構造と機能(日本医事新報社)、鍼通電療法テクニック(医道の日本社)		
受講上の注意	全出席することを原則とする、また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。事故を起こさないように注意をすること、実技中に勝手な行動をした場合や実習系科目要項に違反した場合は、退室させ欠席扱いとするので注意をすること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 金 世野

科目名・対象学科	臨床実習Ⅰ・Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	実技
一般目標(GIO)			
見学実習を通して、医療者における資質と技術向上のために様々な治療方法・治療方針にふれ、より実践的なコメディカル・パラメディカルの仕事を理解する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1. 実習見学 1) 現代鍼灸 西洋的診察、治効理論を学習する。 2) 中医鍼灸 東洋的診察、中医理論を学習する。 3) 伝統鍼灸 古典理論や経絡治療、日本伝統鍼灸鍼灸を学習する。 2. カンファレンス・フィードバック 見学実習後にカンファレンスを行う。 担当施術者の説明およびフィードバック			
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、授業中の確認試験(小テスト)、提出物などの総合評価とする		
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、「生理学」、「臨床医学各論」、「臨床医学総論」、「東洋医学概論」、「東洋医学臨床論」、「経絡経穴」、「リハビリテーション医学」、「衛生学・公衆衛生学」etc		
受講上の注意	全出席することを原則とする、また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 正木 基之

科目名・対象学科	東洋医学概論Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	座学
一般目標(GIO)			
東洋医学の基礎とその応用を理解し、東洋医学臨床論へつながる知識を身に着ける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>1) 東洋医学的診断の基礎を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四診の概要とその分類を説明できる。 望診: 舌診を中心とした診断術の理解 聞診: 呼吸・発声・発語・匂いなどに関する五行との関連の理解 問診: 十問診を中心とした東洋的問診法の理解 切診: 脈診、腹診などの理解(切診に関しては実際に人に触れて学習する。) <p>2) 弁証の基礎を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種弁証について説明できる。 証のたて方① 八綱弁証 証のたて方② 気血津液弁証 証のたて方③ 臓腑弁証 証のたて方④ その他の弁証 <p>3) 東洋医学的治療法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種刺法を説明できる。 治療原則と選穴法 等 古代九鍼・古代刺法の分類とその適応 古代九鍼・刺法(その他の刺法)補瀉法について 			<p>舌質、舌苔</p> <p>五音、五声、五臭</p> <p>十問歌、寒熱、汗、頭身など</p> <p>脈状診、比較脈診、特定腹証</p> <p>表裏、虚実、寒熱</p> <p>気虚、気滞、血虚、血瘀、津液虚、痰湿、精虚、陰虚、陽虚</p> <p>五臓六腑の病証</p> <p>経絡弁証、六淫弁証</p> <p>治法、治則</p> <p>難経六十九難</p> <p>五刺、九刺、十二刺</p> <p>迎随、開闔、呼吸、捻転</p>
成績評価	期末試験の結果にて判定する。		
教科書・副読本	教科書: 新版 東洋医学概論 (東洋療法学校協会編)		
受講上の注意	3分の2以上の出席に達しないものは受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 正木 基之

科目名・対象学科	応用実技Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	実技
一般目標(GIO)			
整形外科的疾患に対する鍼灸の適応・不適応を見極めるための徒手検査を理解し、適切に実施できるようになる。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1) 頸部の障害によって出現する諸症状とその原因や疾患を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。			ジャクソン、スパーリング イートン、肩押し下げ
2) 胸郭出口症候群によって出現する諸症状とその分類を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。			アドソン、アレン、モーレー エデン、ライト、ルース
3) 肩関節周りの障害によって出現する諸症状と、原因となる疾患とその種類を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。			ヤーガソン、スピード、ストレッチ ペインフルアーク、ダウバーン
4) 肘や手首の障害で出現する諸症状とその原因を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。			チェアーテスト、フィンケルシュタイン ファレンテスト
5) 腰部・股関節の障害で出現する諸症状とその原因を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。			SRL、FNS、K-ボンネット パトリック・ニュートン
6) 膝の障害で出現する諸症状とその原因を理解し、その鑑別に必要な各種検査法を理解・実施できる。			ラックマン、膝蓋骨跳動 アブレー、ステインマン、マックマレー
成績評価	期末試験の結果にて判定する。		
教科書・副読本	配布プリント (参考図書鍼灸臨床 問診・診察 ハンドブック)		
受講上の注意	5分の4以上の出席に達しない者は受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:北村 菜

科目名・対象学科	東洋医学臨床Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	座学
一般目標(GIO)			
臨床上遭遇しやすい症候を東洋医学・現代医学とで理解し、それぞれに適応した治療法を考えられる。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>東洋医学的・現代医学的な治療方針を理解する。</p> <p>1) 東洋医学的・現代医学的な治療原則・治療計画を理解できる。</p> <p>主要症候を東洋医学・現代医学の両面から考えることができる。</p> <p>1) 東洋医学的な考え方で症候を理解できる</p> <p>2) 現代医学的な考え方で症候を理解できる</p> <p>3) 頭痛、顔面痛、歯痛、眼精疲労、鼻閉・鼻汁、脱毛症、めまい、耳鳴り・難聴、咳嗽、喘息、胸痛、腹痛、悪心・嘔吐、便秘・下痢、月経異常、排尿障害、インポテンツについて特徴・禁忌を理解した上で</p> <p>東洋・現代医学の治療法を理解できる。</p>			<p>選穴、虚実寒熱、標本緩急</p> <p>本治法、標治法、標本同治</p> <p>四診法、配穴法</p> <p>難経六十九難</p> <p>現代医学的な考え方</p> <p>注意を要するもの</p> <p>適応となるもの、病態、症状</p> <p>治療方針、処方例</p> <p>東洋医学的な考え方</p> <p>病証名、病因、機序</p> <p>主症状、随伴症状、治法</p>
成績評価	期末試験(筆記)で評価する。		
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「東洋医学臨床論(はりきゅう編)」 副読本として東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」「新版 経絡経穴概論」を適宜使用する。		
受講上の注意	全出席を心がけ、授業をしっかりと聞くこと。 資料配布を行うため資料管理を適切に行うこと。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:星野 祐一

科目名・対象学科	応用実技Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	前期	実技
一般目標(GIO)			
鍼の刺入方法と基本的姿勢などの学習と診断に必要な知識を身につけて、臨床に入るための応用力を磨く。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>ステンレス鍼を使用して、適切な方向と刺入深度をコントロールできる。</p> <p>中国鍼を使用して、安全に刺入することができる。</p> <p>指定された経穴に対して2点交互施灸をおこなえる。</p> <p>配穴法を理解して、経穴の組み合わせを考えることができる。</p> <p>銀鍼の刺入練習をおこなう。</p>			<p>ステンレス鍼 中国鍼 銀鍼</p> <p>お灸セット</p> <p>手ぬぐい</p> <p>配穴法</p> <p>経穴など</p>
成績評価	<p>実技テストで評価する。</p> <p>課題や実技中に使用したノート在未提出の場合は実技テストから減点とする。</p> <p>課題内容は授業初日に説明する。</p>		
教科書・副読本	<p>新版・経絡経穴概論 A4サイズのノート(必須) 配布資料など</p>		
受講上の注意	<p>全出席と原則とする。授業内容でハーフパンツを用意する。</p> <p>ノートは月末ごとに回収しチェックをおこなう。(次回授業時に返却する)</p> <p>課題はお灸と鍼の内容が中心となる。</p> <p>実技室の使用上のルールは厳守する。</p>		

平成31年度 講義計画書

担当講師:北村 菜

科目名・対象学科	東洋医学臨床IV		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	後期	座学
一般目標(GIO)			
臨床上遭遇しやすい症候を東洋医学・現代医学とで理解し、それぞれに適応した治療法を考えられる。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>主要症候(腹痛・悪心嘔吐・便秘下痢・月経異常・排尿障害・インポテンツ・高血圧症 低血圧症・食欲不振・肥満・発熱・のぼせ冷え・不眠・疲労倦怠・発疹・小児症状) を東洋医学・現代医学の両面から考えることができる。</p> <p>1) 東洋医学的な考え方で症候を理解し、治療法を考えることができる。 2) 現代医学的な考え方で症候を理解し、治療法を考えることができる。 3) 各症候の特徴・禁忌を理解し、鑑別することができる。</p>		<p>選穴、虚実寒熱、標本緩急 本治法、標治法、標本同治 四診法、配穴法 難経六十九難 現代医学的な考え方 注意を要するもの 適応となるもの、病態、症状 治療方針、処方例 東洋医学的な考え方 病証名、病因、機序 主症状、随伴症状、治法</p>	
成績評価	期末試験(筆記)で評価する。		
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「東洋医学臨床論(はりきゅう編)」 副読本として東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」「新版 経絡経穴概論」を適宜使用する		
受講上の注意	全出席を心がけ、授業をしっかりと聞くこと。 資料配布を行うため資料管理を適切に行うこと。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:金 世野

科目名・対象学科	はりきゅう理論 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2 年	後 期	座 学
一般目標(GIO)			
鍼灸治効の基礎を学び、はりきゅう治療における鎮痛機構や軸索反射の血流増加機構を理解する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>第9章 鍼灸治効の基礎</p> <p>痛みの定義、痛みの受容器、痛み伝導路について理解する。温度、温度、皮膚感覚の受容器、伝導路について理解する。</p> <p>第10章 鍼灸療法の一般治効理論</p> <p>鍼灸の自律神経系に関する効果、血管に及ぼす効果、これらに関わる物質を理解する。</p> <p>第11章 関連学説</p> <p>サイバネティックス、ホメオスタシス、ストレス学説、レイリー現象、圧発汗反射など各学説について理解する。</p>		<p>痛みの定義</p> <p>痛みの種類</p> <p>高閾値侵害機械受容器</p> <p>ポリモーダル受容器</p> <p>神経線維(Aα、Aβ、Aδ、C)</p> <p>内因性発痛物質</p> <p>メルケル盤、ルフィニ終末</p> <p>マイスナー小体、パチニ小体</p> <p>内因性モルヒネ様物質</p> <p>オピオイド受容体</p> <p>ゲートコントロール</p> <p>ケミカルメディエーター</p> <p>インターロイキン</p> <p>アラキドン酸カスケード</p> <p>サイバネティックス学説</p> <p>ホメオスタシス</p> <p>ストレス学説</p> <p>レイリー現象 圧発汗反射</p>	
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、提出物などの総合評価とする。		
教科書・副読本	指定教科書「はりきゅう理論」、「解剖学」、「生理学」、トートラ人体の構造と機能(丸善出版)、人体の正常構造と機能(日本医事新報社)標準生理学(医学書院)		
受講上の注意	全出席することを原則とする、また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師： 中村 幹佑

科目名・対象学科	臨床実技 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2 年	後 期	実 技
一般目標(GIO)			
鍼灸師として整形外科領域の症状を訴える患者に対して適切な施術ができるようになるために、治療に必要な基礎的知識を習得するとともに、それに必要な臨床的スキルと態度を身につける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>講義内容</p> <p>頰椎症・胸郭出口症候群・いわゆる五十肩・腰痛症・坐骨神経痛・変形性膝関節症など整形外科領域の疾患の中でも、鍼灸臨床において遭遇しやすいものを中心に施術方法を学ぶ。</p> <p>到達目標(SBOs)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肩甲背神経パルスができる。 ・坐骨神経パルスができる。 ・大腿神経パルスができる。 ・肩甲上・下神経パルスができる。 ・長母指外転筋・短母指伸筋パルスができる。 		<p>腕神経叢</p> <p>腰神経叢</p> <p>仙骨神経叢</p> <p>頰椎症</p> <p>斜角筋症候群</p> <p>肋鎖症候群</p> <p>過外転症候群</p> <p>五十肩</p> <p>ドゥ・ケルバン</p> <p>筋・筋膜性腰痛</p> <p>椎間関節性腰痛</p> <p>変形性膝関節症</p> <p>ランナーズニー</p> <p>⇒各種徒手検査法</p>	
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	鍼灸療法技術ガイド I・II 文光堂		
受講上の注意	単純な技術の模倣で終わらないよう、考えながら参加する事。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:藤村 響男

科目名・対象学科	臨床医学各論 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2 年	後 期	座 学
一般目標(GIO)			
現代医学による各疾患の症状、診察法、検査法および治療法を学び、東洋医学的知識と統合して鍼灸施術を適切に行う能力を身につける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>感染症について理解する。</p> <p>1) 感染症総論、日和見感染症・感染症を引き起こす病原体と日和見感染を説明できる。</p> <p>2) 輸入感染症、国際感染症を説明できる。</p> <p>3) 腸管感染症(食中毒を含む)を説明できる。</p> <p>4) 性感染症を説明できる。</p> <p>5) 小児感染症を説明できる。</p> <p>消化器疾患について理解する。</p> <p>6) 消化器総論、食道疾患・消化器の機能と食道疾患を説明できる。</p> <p>7) 胃・十二指腸疾患を説明できる。</p> <p>8) 大腸疾患を説明できる。</p> <p>9) 大腸疾患を説明できる。</p> <p>胆・肝・膵疾患を理解する。</p> <p>10) 肝疾患を説明できる。</p> <p>11) 胆嚢、膵臓疾患を説明できる。</p> <p>代謝疾患について理解する。</p> <p>12) 糖質代謝疾患を説明できる。</p> <p>13) 糖質代謝疾患を説明できる。</p> <p>14) 脂質代謝疾患、尿酸代謝疾患を説明できる。</p> <p>15) 試験および解説、講評</p>		<p>食道カンジダ症</p> <p>コレラ、赤痢、マラリア</p> <p>毒素性、感染性食中毒</p> <p>梅毒、淋病、クラミジア、HIV</p> <p>百日咳、麻疹、風疹、猩紅熱</p> <p>食道癌、マロリーワイス</p> <p>胃、十二指腸潰瘍、胃癌</p> <p>炎症性腸疾患</p> <p>大腸癌、過敏性腸炎、痔核</p> <p>肝炎、肝硬変、肝癌</p> <p>胆石症、膵炎、膵癌</p> <p>糖尿病</p> <p>糖尿病の合併症</p> <p>高脂血症、肥満、痛風</p>	
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	臨床医学各論・Visual note(ビジュアルノート:メデックメディア)		
受講上の注意	定期試験の受験資格は、授業への三分の二以上の出席		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 豊 久美

科目名・対象学科	東洋医学臨床Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	後期	座学
一般目標(GIO)			
鍼灸臨床で治療にあたることの多い疾患について東洋医学・現代医学とで理解し、それぞれに適応した治療法を考えられる。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>整形外科的疾患、スポーツ障害、老年期における鍼灸などについて、東洋医学・現代医学の両面から考えることができる。</p> <p>1) 東洋医学的な考え方で症候を理解し、治療法を考えることができる。</p> <p>2) 現代医学的な考え方で症候を理解し、治療法を考えることができる。</p> <p>3) 各症候の特徴・禁忌を理解し、鑑別することができる。</p>		<p>選穴、虚实寒熱、標本緩急</p> <p>本治法、標治法、標本同治</p> <p>四診法、配穴法</p> <p>難経六十九難</p> <p>現代医学的な考え方</p> <p>注意を要するもの</p> <p>適応となるもの、病態、症状</p> <p>治療方針、処方例</p> <p>東洋医学的な考え方</p> <p>病証名、病因、機序</p> <p>主症状、随伴症状、治法</p>	
成績評価	出席状況、授業態度、期末試験(筆記)によって評価する。		
教科書・副読本	東洋療法学校協会編「東洋医学臨床論(はりきゅう編)」 副読本として東洋療法学校協会編「新版 東洋医学概論」「新版 経絡経穴概論」を適宜使用。		
受講上の注意	全出席を心がけ、授業をしっかりと聞くこと。 資料配布を行うため資料管理を適切に行うこと。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:星野 祐一

科目名・対象学科	総合実技Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	後期	実技
一般目標(GIO)			
鍼の刺入方法と基本的姿勢などの学習と診断に必要な知識を身につけて、臨床に入るための応用力を磨く。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>1)東洋医学臨床論に記載されている疾患を理解する。</p> <p>頭痛 顔面痛 顔面麻痺 歯痛 眼精疲労 鼻閉鼻汁 脱毛症 めまい</p> <p>耳鳴りと難聴 咳嗽 喘息 胸痛 腹痛 悪心嘔吐 便秘と下痢 月経異常</p> <p>排尿障害 インポテンツ 高血圧症 低血圧症 食欲不振 肥満 発熱 のぼせと冷え</p> <p>不眠 疲労と倦怠 発疹 小児の症状 肩こり 頸肩腕痛 肩関節痛 上肢痛 腰下肢痛</p> <p>膝痛 運動麻痺などから臨床上、鍼灸師が治療することが多い疾患を理解する。</p> <p>2)各疾患に対して最適な治療法を考え、施術ができる。</p> <p>現代学的に疾患を理解し、適切な施術を選択できる。</p> <p>東洋医学的に疾患を理解し、適切な施術を選択できる。</p> <p>3)基本練習をおこなう。</p> <p>銀鍼の刺入 2点交互施灸 ステンレス鍼 中国鍼などの練習をおこなう。</p>			<p>東洋医学臨床論</p> <p>頭痛～運動麻痺の疾患</p> <p>主に銀鍼寸6-2 寸3-2</p> <p>ステンレス鍼</p> <p>中国鍼</p> <p>お灸</p> <p>現代医学的知識(筋骨など)</p> <p>東洋医学的知識(八綱弁証など)</p>
成績評価	科目評価試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等) 提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	新版・経絡経穴概論 A4サイズのノート(必須) 配布資料など		
受講上の注意	全出席と原則とする。授業内容でハーフパンツを用意する。 ノートは月末ごとに回収しチェックをおこなう。(次回授業時に返却する) 課題はお灸と鍼の内容が中心となる。 実技室の使用上のルールは厳守する。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:大野 亜二茂

科目名・対象学科	臨床医学総論Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	後期	座学
一般目標(GIO)			
臨床医学総論第5章(局所の診察)から第9章(臨床検査法)を理解修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1) 局所の診察 ・頭部や顔面部などの局所診察について理解できる。			顔面神経麻痺 眼瞼下垂、眼球突出
2) 神経系の診察 ・感覚検査などの神経系の診察について理解できる。			表在性感覚検査 深部感覚検査
3) 運動機能検査 ・運動麻痺や筋委縮などの運動機能検査について理解できる。			上位運動ニューロン障害 下位運動ニューロン障害
4) その他の診察 ・救急時の診察などについて理解できる。			救急救命 高齢者の診察
5) 臨床検査法 尿検査や血液検査などの臨床検査法について理解できる。			尿検査の概要 血液検査の概要
成績評価	定期試験の結果で評価する		
教科書・副読本	臨床医学総論、オリジナルプリント		
受講上の注意	3分の2以上の出席に達しないものは受験資格を失う。授業中は私語厳禁。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:正木 基之

科目名・対象学科	応用実技Ⅳ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	後期	実技
一般目標(GIO)			
整形外科的疾患に対する鍼灸の適応・不適応を見極めるための徒手検査を深く理解し、症例の分析と検討から適切な検査を導き出し、治療までつなげることができる。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1) 頸肩腕痛の症例検討と徒手検査およびその治療 頸肩腕痛の分類を理解し、必要な検査法と治療法理解する。			頸部神経根症 胸郭出口症候群 肩関節周囲炎
2) 腰下肢痛の症例検討と徒手検査およびその治療 腰下肢痛の分類を理解し、必要な検査法と治療法理解する。			椎間関節性腰痛 大腿神経痛 坐骨神経痛
3) 膝関節痛の症例検討と徒手検査およびその治療 膝関節痛の分類を理解し、必要な検査法と治療法理解する。			変形性膝関節症 ジャンパーズニー ランナーズニー 鷲足炎
4) その他疼痛を主訴とする整形疾患の症例検討と徒手検査およびその治療 鍼灸臨床で遭遇しやすい整形外科疾患の分類を理解し、必要な検査法と治療法理解する。			手根管症候群 シンスプリント コンパートメント症候群 その他
成績評価	期末試験の結果にて判定する。		
教科書・副読本	配布プリント (参考図書鍼灸臨床 問診・診察 ハンドブック)		
受講上の注意	5分の4以上の出席に達しない者は受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:金 世野

科目名・対象学科	臨床実習 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2 年	後 期	実 技
一般目標(GIO)			
見学実習を通して、医療者における資質と技術向上のために様々な治療方法・治療方針にふれ、より実践的なコメディカル・パラメディカルの仕事を理解する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>1. 実習見学</p> <p>身なり、言葉遣いなどの社会的なマナーに触れる。</p> <p>医療者としての医療倫理やヘルスプロモーションを理解する。</p> <p>実技の所作や基本により実践的に触れる。</p> <p>医療面接から治療までの流れに触れる。</p> <p>2. カンファレンス・フィードバック</p> <p>見学実習後にカンファレンスを行う。</p> <p>担当施術者の説明およびフィードバックや施術者と見学者でカンファレンスを行う。</p>			
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、授業中の確認試験(小テスト)、提出物などの総合評価とする。		
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、「生理学」、「臨床医学各論」、「臨床医学総論」、「東洋医学概論」、「東洋医学臨床論」、「経絡経穴」、「リハビリテーション医学」、「衛生学・公衆衛生学」etc		
受講上の注意	全出席することを原則とする、また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:金 世野

科目名・対象学科	臨床実習Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	後期	実技
一般目標(GIO)			
見学実習を通して、医療者における資質と技術向上のために様々な治療方法・治療方針にふれ、より実践的なコメディカル・パラメディカルの仕事を理解する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>1. 実習見学</p> <p>身なり、言葉遣いなどの社会的なマナーに触れる。</p> <p>医療者としての医療倫理やヘルスプロモーションを理解する。</p> <p>実技の所作や基本により実践的に触れる。</p> <p>医療面接から治療までの流れに触れる。</p> <p>2. カンファレンス・フィードバック</p> <p>見学実習後にカンファレンスを行う。</p> <p>担当施術者の説明およびフィードバックや施術者と見学者でカンファレンスを行う。</p>			
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況)、授業中の確認試験(小テスト)、提出物などの総合評価とする。		
教科書・副読本	指定教科書「解剖学」、「生理学」、「臨床医学各論」、「臨床医学総論」、「東洋医学概論」、「東洋医学臨床論」、「経絡経穴」、「リハビリテーション医学」、「衛生学・公衆衛生学」etc		
受講上の注意	全出席することを原則とする、また疑問点を放置せず、調べたり質問したりして必ず自己解決すること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:正木 基之

科目名・対象学科	総合領域Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	後期	座学
一般目標(GIO)			
東洋医学を体系的に理解し、臨床につながる知識としての応用力を身につける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>1) 東洋医学概論 陰陽五行～治療論</p> <p>2) 東洋医学臨床論 治療原則～疾患別治療</p> <p>3) 経絡経穴概論 経脈病証とその診断と治療</p>			<p>色体表 治法 選穴法</p> <p>虚実補瀉法 内科疾患への鍼灸治療 整形疾患への鍼灸治療</p> <p>穴性学 十二経脈病証 奇経八脈病証</p>
成績評価	期末試験の結果にて判定する。		
教科書・副読本	教科書:新版 東洋医学概論 (東洋療法学校協会編), 東洋医学臨床論 (東洋療法学校協会編) 経絡経穴概論 (東洋療法学校協会編)		
受講上の注意	3分の2以上の出席に達しないものは受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:武井 航

科目名・対象学科	病理学概論		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	2年	後期	座学
一般目標(GIO)			
病理学の基礎について理解を深め、鍼灸師になるために必要な基礎医学的知識を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
病理学概論(医歯薬出版株式会社)を基本とし、プリント等を配布して授業を行う。			
病理学 第1章 病理学とはどのような学問か			
病理学 第2章 疾病(病気)についての基本的考え方			
病理学 第3章 病因 ・病気の原因について理解し、説明できる。			内因 外因
病理学 第4章 循環障害 ・循環障害について理解し、説明できる。			血栓 梗塞 ショック
病理学 第5章 退行性病変 ・退行性病変の特徴を理解し説明できる。			萎縮 変性 壊死
病理学 第6章 進行性病変 ・進行性病変の特徴を理解し説明できる。			肥大 再生 移植
病理学 第7章 炎症 ・炎症の特徴および代表的な疾患を説明できる。			炎症の分類
病理学 第8章 腫瘍 ・腫瘍細胞の特徴を理解し、説明できる。			腫瘍細胞の特色 癌 肉腫
病理学 第9章 免疫異常・アレルギー ・自己免疫疾患・アレルギーについて説明できる。			アレルギー 免疫不全
病理学 第10章 先天性異常 ・遺伝に関わる疾患について説明できる。			遺伝性疾患 染色体異常
成績評価	小テスト、提出物、定期試験の成績等によって評価する。		
教科書・副読本	病理学概論(医歯薬出版株式会社)		
受講上の注意	全出席を基本とし、全授業時間の3/2以上の出席を満たさない場合には定期試験の受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 武井 航

科目名・対象学科	総合演習 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3 年	前期	座学
一般目標(GIO)			
2年時に学習した生理学の範囲のうち、第1章～第9章の範囲について理解を深め、鍼灸師になるために必要な基礎医学的知識を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>生理学 第3版(東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社)を基本とし、プリント等を配布して授業を行う。また、四者択一形式の問題なども同時に配布する。学習範囲は、第1章から第9章とする。</p> <p>第1章 生理学の基礎 ・生理学の基礎の範囲を理解し、説明できる。</p> <p>第2章 循環 ・循環(血液、心臓等)の生理学的特徴および構造を理解し説明できる。</p> <p>第3章 呼吸 ・呼吸の生理学的特徴および呼吸器の構造を理解し説明できる。</p> <p>第4章 消化と吸収 ・消化器の構造および消化の生理学的特徴を理解し説明できる。</p> <p>第5章 代謝 ・代謝の生理学的特徴を理解し説明できる。</p> <p>第6章 体温 ・体温の生理学的特徴を理解し説明できる。</p> <p>第7章 排泄 ・排泄の生理学的特徴および泌尿器の構造を理解し説明できる。</p> <p>第8章 内分泌 ・内分泌器の構造およびホルモンの生理学的特徴を理解し説明できる。</p> <p>第9章 生殖・成長と老化 ・生殖器の構造および生殖・成長・老化の生理学的特徴を理解し説明できる。</p>		<p>細胞の構造と機能、物質代謝</p> <p>体液の組成と働き、物質移動</p> <p>血液の組成と働き、心臓血管系</p> <p>循環調節</p> <p>外呼吸と内呼吸、肺機能</p> <p>呼吸運動と調節</p> <p>消化管運動、消化液</p> <p>消化管ホルモン、肝臓</p> <p>栄養素、エネルギー</p> <p>糖質、脂質、タンパク質、ビタミン</p> <p>体温調節、熱産生、熱放散</p> <p>発汗とその調節</p> <p>腎臓の構造と働き、GFR</p> <p>尿生成、畜尿と排尿</p> <p>ホルモンの特徴</p> <p>下垂体、甲状腺、副腎</p> <p>生殖器、性周期</p> <p>成長、老化</p>	
成績評価	定期試験の成績によって評価する。		
教科書・副読本	生理学 第3版(医歯薬出版株式会社)		
受講上の注意	全出席を基本とし、全授業時間の3/2以上の出席を満たさない場合には定期試験の受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 武井 航

科目名・対象学科	総合演習Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	座学
一般目標(GIO)			
臨床医学の範囲のうち、腎・泌尿器疾患、循環器疾患、血液・造血器疾患、リウマチ性疾患、膠原病等の範囲について学習し、鍼灸師として必要となる知識を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
臨床医学各論 第2版(東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社)を基本とし、プリント等を配布して授業を行う。学習範囲は、第5章、第9章、第10章、第12章とする。			
第5章 腎・泌尿器疾患 ・腎・泌尿器の構造と機能を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。		糸球体腎炎、腎不全 腎腫瘍	
第9章 循環器疾患 ・循環器系の構造と機能を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。		心不全、心臓弁膜疾患 冠動脈疾患、血圧異常	
第10章 血液・造血器疾患 ・血液・造血器の特徴を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。		赤血球疾患、白血球疾患 白血病、血友病	
第12章 リウマチ性疾患・膠原病 ・免疫の特徴を理解するとともに、リウマチ性疾患・膠原病の特徴を理解し説明できる。		関節リウマチ、SLE アレルギー疾患	
成績評価	定期試験の成績によって評価する。		
教科書・副読本	臨床医学各論 第2版(東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社)、 ビジュアルノート 第4版(メディックメディア)		
受講上の注意	全出席を基本とし、授業時間の3/2以上の出席を満たさない場合には定期試験の受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 豊 久美

科目名・対象学科	基礎実習Ⅷ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	実技
一般目標(GIO)			
臨床で触れる身近な疾患について、その症候や疾患に対する現代医学的な観点から治療計画・治療法を学習する。また、安全な刺鍼と正確な選穴・取穴ができるようになる。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>整形外科的疾患を中心に、頭頸部、顔面などにも刺鍼する。</p> <p>1) 各疾患の病因や症状などを理解する。 ・鑑別に必要な知識を備えているか</p> <p>2) 正しい選穴・取穴ができるようになる。 ・骨度法、同身寸法を覚え実践できるか ・経穴を覚え、正しく取穴できるか</p> <p>3) 正確な刺鍼ができるようになる。 ・消毒～刺鍼、抜針が正確にできるか ・ワゴンワークなども考慮できているか</p> <p>4) その他 ・組になり互いに問診から治療評価まで行うこともある。 ・特殊鍼法を行うこともある。</p>			<p>整形外科的疾患</p> <p>頭頸部</p> <p>顔面刺鍼</p> <p>鑑別</p> <p>骨度法、同身寸法</p> <p>消毒</p> <p>ワゴンワーク</p>
成績評価	出席状況、授業態度、提出物、期末テストを総合して評価する。		
教科書・副読本	東洋医学臨床論(はりきゅう編)		
受講上の注意	欠席日数が全体の1/5を超すと受験資格がなくなる。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 藤村 響男

科目名・対象学科	臨床医学各論Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	座学
一般目標(GIO)			
現代医学による各疾患の症状、診察法、検査法および治療法を学び、東洋医学的知識と統合して鍼灸施術を適切に行う能力を身につける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>内分泌疾患について理解する。</p> <p>1) 内分泌総論・内分泌機構と役割を理解する。</p> <p>2) 視床下部・下垂体疾患が説明できる。</p> <p>3) 甲状腺疾患が説明できる。</p> <p>4) 副腎疾患が説明できる。</p> <p>神経疾患について理解する。</p> <p>5) 脳血管障害について理解する。</p> <p>6) 認知症・脳神経の異常を説明できる。</p> <p>7) 神経・筋の異常を説明できる。</p> <p>8) 筋疾患・末梢神経障害を説明できる。</p> <p>9) 機能的疾患・脳腫瘍・頭部外傷を説明できる。</p> <p>呼吸器疾患について理解する。</p> <p>10) 呼吸器総論・呼吸器の機能と役割を理解する。</p> <p>11) 感染性呼吸器疾患を説明できる。</p> <p>12) 閉塞性呼吸器疾患を説明できる。</p> <p>13) その他の呼吸器疾患を説明できる。</p> <p>14) 小児科疾患・精神科疾患を説明できる。</p> <p>15) 心療内科分野の疾患を説明できる。</p>			<p>ホルモン</p> <p>巨人症、尿崩症</p> <p>バセドウ病、甲状腺機能低下</p> <p>副腎皮質疾患、髄質疾患</p> <p>脳卒中</p> <p>認知症の鑑別</p> <p>ALS、パーキンソン病</p> <p>筋ジストロフィー、MG、GBS</p> <p>頭痛の鑑別、血腫</p> <p>死腔、異物除去機構</p> <p>肺炎、結核、インフルエンザ</p> <p>COPD</p> <p>双極性障害、統合失調症</p> <p>心身症、摂食障害</p>
成績評価	定期試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	臨床医学各論・visual note（ビジュアルノート：メディックメディア）		
受講上の注意	定期試験の受験資格は、授業への三分の二以上の出席		

平成31年度 講義計画書

担当講師： 小金井 紀子

科目名・対象学科	基礎はりきゅう学IV		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	座学
一般目標(GIO)			
国家試験の過去問を解きながら、1,2年次で学習した解剖学の重要事項の復習をする。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>以下の内容を復習・理解し、国家試験問題を解くことができるようになる。</p> <p>1)骨</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨・軟骨・関節・靭帯の一般的な構造及び機能について説明できる。 身体各所の骨及び関節それぞれの名称、また、関節面や筋の付着部となる主要な部位の名称を説明することができる。 <p>2)筋肉</p> <ul style="list-style-type: none"> 筋肉及びその補助装置について、一般的な構造及び機能について説明できる。 身体各所の筋肉それぞれの名称・付着部位・支配神経・作用について説明することができる。 <p>3)循環器</p> <ul style="list-style-type: none"> 血管の一般的な構造・役割、動脈・静脈の違いについて説明することができる。 心臓の構造について説明することができる。 主要な動脈の走行について説明することができる。 主要な静脈の走行、深静脈と皮静脈の違いについて説明することができる。 胎児循環の役割および生後の循環との違いについて説明することができる。 リンパ系の役割とその主要な走行、リンパ系器官について説明することができる。 		<p>骨組織 関節の種類</p> <p>関節面、作用</p> <p>筋組織、アクチン、ミオシン</p> <p>起始、停止、支配神経</p> <p>作用</p> <p>動脈、静脈、三層構造</p> <p>心房、心室、弁</p> <p>大動脈、細動脈</p> <p>静脈弁、深静脈、皮静脈</p> <p>臍動脈、臍静脈</p> <p>リンパ節、胸管、静脈角</p> <p>脾臓、扁桃、パイエル板</p>	
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	財団法人 東洋療法学校協会 編『解剖学』第2版 (医歯薬出版)		
受講上の注意			

平成31年度 講義計画書

担当講師:星野 祐一

科目名・対象学科	臨床はりきゅう学IV		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	座学
一般目標(GIO)			
経絡経穴を復習し、国家試験対策をおこなう。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>経絡経穴を復習する。</p> <p>1) 経絡経穴の要穴を理解する</p> <p>教科書の要穴表を学習する。</p> <p>各経穴の取穴部位を学習する。</p> <p>2) 国家試験の過去問題を理解する。</p> <p>実際に過去問題をおこない苦手な部分を確認する。</p>		<p>要穴 八会穴</p> <p>骨度法 同身寸法</p> <p>五要穴(原郄絡募兪穴)</p> <p>五行穴(井榮兪経合穴)</p> <p>四総穴 八会穴 八脈交会穴</p> <p>下合穴</p> <p>取穴部位</p>	
成績評価	国家試験を考慮した4択問題をおこなう。		
教科書・副読本	指定教科書「新版 経絡経穴概論」		
受講上の注意	全出席を原則とする。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 稲田 久

科目名・対象学科	臨床はりきゅう学Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	座学
一般目標(GIO)			
はり・きゅうの基礎知識と臨床での応用知識、リスク管理において学習し、国家試験問題に対して柔軟に対応できるようになることを目指す。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
鍼の基礎知識・刺鍼の方式と術式 特殊鍼法・灸の基礎知識 灸術の種類 鍼灸の臨床応用 リスク管理 感覚の受容と伝導 鍼灸刺激と反射 鍼灸刺激と自律神経・生体防御機構 関連学説 問題演習			刺鍼の方式 小児鍼 良質モグサの鑑別 消毒、滅菌 C線維 上脊髄反射 ストレス サイバネテックス
成績評価	定期テスト		
教科書・副読本	学校協会の教科書		
受講上の注意	寝ない。私語厳禁。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 中村 幹佑

科目名・対象学科	基礎実習Ⅶ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	実技
一般目標(GIO)			
鍼灸師として経穴を用いた施術ができるようになるために、腹診を用いた診断・治療に必要な基礎的知識を習得するとともに、それに必要な臨床的技能と態度を身につける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>講義内容</p> <p>故長野潔氏が東洋医学と西洋医学の融合を試み体系立てた「長野式治療法」を基に長野氏を師事した松本岐子氏が腹診を取り入れて独自に発展させた「キーコストイル」を中心に学びます。腹診の結果でそれぞれ証立てや配穴が決まっているため、初学者でも臨床に取り入れやすい事が特徴です。授業では「キーコストイル」を鍼灸学校の3年生が理解しやすいように、各臓に対する処置法としてお伝えします。また、細かな部分は後日詳しく学べるように配布資料を充実させ、授業内では腹診や取穴といった技術面を身に付ける事を目的とします。</p> <p>到達目標(SBOs)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腹診において的確な部位に対し、必要な強さで押圧ができる。 ・腹診の結果から適切な証を述べる事ができる。 ・腹診によって導き出された証に対する配穴を述べる事ができる。 ・要穴の取穴ができる。 ・特定の経穴に対し適切な刺鍼の角度と深さで刺鍼ができる。 		<p>東洋医学の腹診</p> <p>要穴</p> <p>迎隨の補瀉</p>	
成績評価	定期試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本			
受講上の注意	単純な技術の模倣で終わらないよう、考えながら参加する事。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 豊 久美

科目名・対象学科	総合演習Ⅳ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	実技
一般目標(GIO)			
実習班でレポートを記しディスカッションを行うことにより、臨床実習での問題点を抽出し、次回の実習に生かす。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>臨床実習で起こった事象をもとに、より良い実習になるようディスカッションをおこなう。</p> <p>1) ワークシートを用いて個人で反省を行う。 ・自分が施術者だという立場で参加できているか ・また患者の立場でも考えることができるか</p> <p>2) グループでディスカッションを行う。 ・施術者、参加者それぞれの立場から問題点をあげ、それに対し改善点を探求できるか ・班長を中心に全員が参加することができているか</p> <p>3) 手技などの確認を行う。 ・実習中に施せなかった手技を確認し練習する。</p>			
成績評価	実技、出席、授業態度・提出物等、総合して判断をする。		
教科書・副読本	はりきゅう実技基礎編、はりきゅう理論、経絡経穴概論、解剖学、臨床医学各論など		
受講上の注意	実技室使用規則に反する場合、退出させる。また4/5以上出席できなかった者は期末試験の受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 豊 久美

科目名・対象学科	臨床実習		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	実技
一般目標(GIO)			
鍼灸臨床に携わる者として、患者のもつ諸問題を考察しながら適切な患者・施術者関係を構築するとともに、自らの知識・技術を広く応用させ、鍼灸臨床を実践できる。また、鍼灸臨床を実践する中で自らの問題点に気付き、解決する姿勢を身に付ける。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
臨床を行う上で必要となる一連の動きを理解し実践できるようになる。 1) 医療従事者としての姿勢を身に付ける。 ・身だしなみや物腰なども含む。 2) 良好な治療者－患者関係を構築することができる。 ・傾聴や共感、目線など、医療面接で学んだことを遂行できる。 3) 患者からの確に情報収集することができる。 4) 患者が抱える問題点を抽出することができる。 5) ①②③をふまえて治療計画を立案することができる。 ・四診合参、整形外科的検査などのすり合わせができる。 ・チームカンファレンスを円滑に行うことができる。 6) 鍼灸の基本手技を実践することができる。 7) 診療記録を作成することができる。 8) 医の倫理について認識し実践することができる。			
成績評価	全日程の出席と、毎時のレポートにて評価する。		
教科書・副読本	実習に於いて各自が必要かと思う書籍を必ず持参する事(例: 東洋学臨床論 経絡経穴概論 解剖学 臨床医学各論 visualnoteなど)		
受講上の注意	各自が担当施術者であるという気持ちを持ち、真摯な態度且つ積極的に参加する事。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 正木 基之

科目名・対象学科	総合領域Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	座学
一般目標(GIO)			
東洋医学概論の範囲で特に国家試験で出題頻度の高い範囲や臨床に係る範囲を中心に学習する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1) 東洋医学の思想と哲学の復習 ・東洋医学の思想た哲学が医学にどのように応用されているかを再び理解する。 2) 陰陽論の復習 ・身近な陰陽と医学への応用を再び理解する。 3) 五行学説の復習 ・身近な五行と色体表の医学への応用を再び理解する。 4) 気血津液精の生理・病理・病証, 病因病機の復習 ・東洋医学の生体物質の生理作用から病因病機、病因論を再び理解する。 5) 五臓六腑の生理・病理・病証の復習 ・五臓六腑の生理作用から病因病機を再び理解する。 6) 診断論の復習 ・東洋医学的診断技術を再び理解する。 7) 各種弁証の復習 ・弁証論治を再び理解する。 8) 治療論の復習 ・古代鍼や各種治療法を再び理解する。 9) 経絡病証の復習 ・臓腑病証とは異なる病証である経脈病証を再び理解する。			天人合一、養生、未病治 対立、制約、互根、消長、 転化、可分 色体表、相生、相克 推動、温煦、防御、固摂、気化 疏泄、蔵血、主血、神志、運化、統血、 宣発、肅降、蔵精、主水、納気、封蔵 四診(望診、聞診、問診、切診) 舌診、脈診、腹診 八綱弁証、気血津液弁証、臓腑弁証 六淫弁証 五刺、九刺、十二刺 十二経脈病証、奇経八脈病証
成績評価	期末試験の結果にて判定する。		
教科書・副読本	教科書: 新版 東洋医学概論 (東洋療法学校協会編) 副読本: 経絡経穴概論 / 東洋医学臨床論 / 配布プリント		
受講上の注意	3分の2以上の出席に達しないものは受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 芦野 純夫

科目名・対象学科	医療概論・関係法規		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	前期	座学
一般目標(GIO)			
医学の歩みと制度、医療人としての心得、あはき師の制度と法律、その他の主な医療法規を学ぶ			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
医療の歴史①古代ギリシアからローマ帝国・中世の医学、医学はいかに始まったかを学ぶ			ヒポクラテス
医療の歴史②16世紀に解剖学・外科が成立、17世紀に血液循環から生理学が成立する			ルネサンス
医療の歴史③18世紀に病理学・19世紀に衛生学が成立、臨床医学は事実上20世紀から			ホメオスターシス
東洋と日本の医療史(律令制度、幕府時代の医療と鍼灸、幕末～維新の西洋医学導入)			シーボルト、鍼麻醉報道
現代の医療制度①プライマリ・ケアとは何か、医療・介護の施設・従事者・各保険のあらまし			アルマアタ宣言
現代の医療制度②医療費その他の医療問題、特に医薬品・健診がもたらす実態について			国民医療費
生命倫理①(医療者のあり方)説明と同意、延命医療・緩和医療、ターミナルケアとホスピス			インフォームド・コンセント
生命倫理②(生と死のあり方)自然死・尊厳死と安楽死・脳死と臓器移植、生殖医療の問題			リビングウィル
法規の基礎(法体系、憲法・法律・政省令・条例)、明治以降の鍼灸・按摩・柔整の制度史			GHQの鍼灸禁止勧告
あはき師法の概要(教科書第2章)、業の意味、欠格事由、免許申請、施術の法的制限			施術行為
あはき師法の概要(第2章続き)、開業・広告に関する事項、罰則、19条の問題点と裁判			医業類似行為
その他の医療・衛生・福祉法規(医療法・医師法・保助看法・柔整師法・薬機法など)			パラメディカル・スタッフ
資料Ⅰ HS式無熱高周波療法の裁判を通して見た医業類似行為			昭和35年の最高裁判決
資料Ⅱ 『あん摩、はり、きゆう、柔道整復等 営業法の解説』(抄)			医業の一部としての身分法
総まとめ(医療の歴史と制度・法規を通して、医療人としてどうあるべきかを総括する)			メディカル・サービス
成績評価	定期試験による(出席状況と授業態度も加味する)		
教科書・副読本	『鍼灸師・柔整師のための医療概論』『鍼灸医療関係法規』(各東京点字出版所発行)		
受講上の注意	予習・復習をすること、授業中の居眠り・内職は禁ずる		

平成31年度 講義計画書

担当講師:武井 航

科目名・対象学科	総合演習 I		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3 年	後 期	演 習
一般目標(GIO)			
2年時に学習した生理学・病理学の範囲のうち、生理学の第10章～第15章および病理学の全ての範囲について理解を深め、鍼灸師になるために必要な基礎医学的知識を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>生理学 第3版(東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社)、病理学概論(医歯薬出版株式会社)を基本とし、プリント等を配布して授業を行う。また、四者択一形式の問題なども同時に配布する。</p> <p>生理学 第10章 神経:神経系の構造と機能を理解し、説明できる。</p> <p>生理学 第11章 筋:筋の構造と機能を理解し、説明できる。</p> <p>生理学 第12章 運動:運動機能を理解し、説明できる。</p> <p>生理学 第13章 感覚:感覚器の構造と機能を理解し、説明できる。</p> <p>生理学 第14章 生体の防御機構:生体防御の機能を理解し、説明できる。</p> <p>生理学 第15章 身体活動の協調:身体活動の機能を理解し、説明できる。</p> <p>病理学 第3章 病因:病気の原因について理解し、説明できる。</p> <p>病理学 第4章 循環障害:循環障害について理解し、説明できる。</p> <p>病理学 第5章 退行性病変:退行性病変の特徴を理解し説明できる。</p> <p>病理学 第6章 進行性病変:進行性病変の特徴を理解し説明できる。</p> <p>病理学 第7章 炎症:炎症の特徴および代表的な疾患を説明できる。</p> <p>病理学 第8章 腫瘍:腫瘍細胞の特徴を理解し、説明できる。</p> <p>病理学 第9章 免疫異常・アレルギー:自己免疫疾患について説明できる。</p> <p>病理学 第10章 先天性異常:遺伝に関わる疾患について説明できる。</p>		<p>ニューロン 神経伝達物質</p> <p>エネルギー供給</p> <p>運動単位 運動の調節</p> <p>体性感覚 特殊感覚</p> <p>免疫 アレルギー</p> <p>ホメオスタシス</p> <p>内因 外因</p> <p>血栓 梗塞 ショック</p> <p>萎縮 変性 壊死</p> <p>肥大 再生 移植</p> <p>炎症の分類</p> <p>腫瘍細胞の特色 癌 肉腫</p> <p>アレルギー 免疫不全</p> <p>遺伝性疾患 染色体異常</p>	
成績評価	定期試験の成績によって評価する。		
教科書・副読本	生理学 第3版(医歯薬出版株式会社)、病理学概論(医歯薬出版株式会社)		
受講上の注意	全出席を基本とし、全授業時間の3/2以上の出席を満たさない場合には定期試験の受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師： 小金井 紀子

科目名・対象学科	基礎はりきゅう学Ⅳ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
国家試験の過去問を解きながら、1,2年次で学習した解剖学の重要事項の復習をする。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>以下の内容を復習・理解し、国家試験問題を解くことができるようになる。</p> <p>1)神経</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経細胞の基本的な構造とシナプス、グリア細胞について説明できる。 ・中枢神経系を構成する脊髄、脳について構造と働き、主要な部位について説明できる ・脊髄神経の走行及び支配領域について説明することができる。 ・自律神経系の働きと走行、およびそれぞれの働きについて説明することができる。 ・主な伝導路とその働きについて説明することができる。 <p>2)呼吸器系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肺・鼻・気管の構造と働きについて説明することができる。 <p>3)消化器系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓の構造と働きについて説明することができる。 <p>4)泌尿器系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・腎臓、膀胱、尿道の構造と働きについて説明することができる。 <p>5)生殖器系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮、卵巣、精巣、輸精路について説明することができる。 <p>6)内分泌系</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体、副腎、膵臓、性腺について構造と分泌されるホルモンの名前・働きが説明できる。 <p>7)皮膚、視覚器、平衡聴覚器、味覚器について、構造と働き及び関連する神経について説明できる。</p>		<p>軸索、シナプス、グリア細胞</p> <p>灰白質、白質、脊髄、脳幹、大脳、小脳、脳室</p> <p>神経叢、デルマトーム</p> <p>交感神経、副交感神経</p> <p>脊髄視床路、錐体路</p> <p>肺、鼻、気管</p> <p>口腔、咽頭、食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓</p> <p>腎臓、膀胱、尿道</p> <p>子宮、卵巣、精巣、精索</p> <p>脳下垂体、松果体、甲状腺、上皮小体</p> <p>副腎、膵臓、性腺</p> <p>表皮、自由神経終末、蝸牛、前庭、半規管</p> <p>舌、味蕾</p>	
成績評価	定期試験、授業態度(出席状況含む)、授業中の確認試験(小テスト等)、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	財団法人 東洋療法学校協会 編 『解剖学』 第2版 (医歯薬出版)		
受講上の注意			

平成31年度 講義計画書

担当講師: 芦野 純夫

科目名・対象学科	社会鍼灸学		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
医療概論、関係法規の知識を踏まえて、鍼灸と社会・周辺領域との関わりについて、どうあるべきかを考察する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
① 医療概論の復習 1. 医学史 2. 医療制度 3. 生命倫理 それぞれのポイント ② 関係法規の復習 1. あはき師法一免許 2. 同一その他 3. 関連法規、無免許問題 それぞれのポイント ③ 社会における鍼灸師 1. 鍼灸院の開業～プライマリケアの担い手として 2. 医療機関における鍼灸 3. 鍼灸と医療保険 4. 鍼灸と介護保険 5. 鍼灸と周辺領域 6. 鍼灸と関係団体 ④ その他～模擬試験等の講評、国試の願書書きなど			医学史、医療制度、生命倫理 あはき師法、免許・無免許 開業、プライマリケア 医療機関 医療保険 介護保険
成績評価	期末テストによる		
教科書・副読本	『鍼灸師・柔整師のための医療概論』『鍼灸医療関係法規』共に東京点字出版所発行		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 豊 久美

科目名・対象学科	総合領域IV		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
2年から3年前期に学習した臨床医学各論の範囲のうち、第1章・第13章の範囲について理解を深め、鍼灸師になるために必要な基礎医学的知識を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>東洋医学臨床論(東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社)を基本とし、プリント等を配布して授業を行う。また、四者択一形式の問題なども同時に配布する。</p> <p>学習範囲は 第1巻と第12巻と</p> <p>第1章 感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細菌性、ウイルス性の感染症について理解し、説明できる。 <p>第13章 その他の領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児疾患、一般外科、麻酔、婦人科疾患、皮膚科疾患、眼科疾患、耳鼻科疾患、精神科疾患、心療内科について理解し説明できる。 		<p>細菌感染症、ウイルス感染症、性感染症</p> <p>感染経路、日和見感染</p> <p>小児神経症、熱証、凍傷、ショック</p> <p>全身麻酔と局所麻酔</p> <p>子宮体癌と頸癌、更年期障害</p> <p>アトピー性皮膚炎、湿疹、</p> <p>結膜炎、緑内障、眼精疲労</p> <p>突発性難聴、メニエール病</p> <p>神経症、統合失調症、気分障害</p> <p>心身症</p>	
成績評価	出席及び、12/1・1/26におこなわれる試験結果による。		
教科書・副読本	臨床医学各論(医歯薬出版株式会社)、ビジュアルノート		
受講上の注意	全出席を基本とし、全授業時間の2/3以上の出席を満たさない場合には定期試験の受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:星野 祐一

科目名・対象学科	臨床はりきゅう学Ⅳ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
経絡経穴や東洋医学臨床論を学習し、理解度を高める。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等		学習のキーワード	
<p>東洋医学臨床論と経絡経穴を結び付けられる。</p> <p>1)経絡経穴概論で使用頻度の高い経穴を学習する。</p> <p>教科書の要穴表を学習する。</p> <p>各経穴の取穴部位を学習する。</p> <p>2)東洋医学臨床論の各疾患におけるポイントを学習する。</p> <p>頭痛 顔面痛 顔面麻痺 歯痛 眼精疲労 鼻閉鼻汁 脱毛症 めまい</p> <p>耳鳴りと難聴 咳嗽 喘息 胸痛 腹痛 悪心嘔吐 便秘と下痢 月経異常</p> <p>排尿障害 インポテンツ 高血圧症 低血圧症 食欲不振 肥満 発熱 のぼせと冷え</p> <p>不眠 疲労と倦怠 発疹 小児の症状</p> <p>3)各疾患の治療の際に使用頻度の高い経穴を学習し理解する。</p>		<p>要穴 八会穴</p> <p>骨度法 同身寸法</p> <p>五要穴(原郄絡募俞穴)</p> <p>五行穴(井榮俞経合穴)</p> <p>四総穴 八会穴 八脈交会穴</p> <p>下合穴</p> <p>取穴部位</p> <p>四択問題</p>	
成績評価	科目評価試験、授業態度（出席状況含む）、授業中の確認試験（小テスト等）、提出物などの総合評価とし、学校の定める試験評価に準ずる。		
教科書・副読本	指定教科書「東洋医学臨床論」「新版 経絡経穴概論」と配布資料など		
受講上の注意	全出席を原則とする。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:豊 久美

科目名・対象学科	基礎実習Ⅷ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	実技
一般目標(GIO)			
実際に臨床の現場で相対しやすい疾患や事象について、応用鍼灸実技を行う。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
<p>内科系疾患、整形外科的疾患などについて、鍼・灸。その他の道具を用いてどのようにアプローチするか考え、実技を行う。</p> <p>臨床応用実技:臨床を行う上で必要となる技術を理解し実践できるようになる。</p> <p>1) 医療従事者としての姿勢を身に付ける。 ・身だしなみや物腰なども含む。</p> <p>2) 全身調整から美容に対する鍼灸術が施せるようになる。</p> <p>3) 特殊灸法</p> <p>4) 中国鍼 などをを行う</p> <p>※ 期末試験は授業内で行ったものの中から一つを選び、技術確認を行う予定である。</p>			<p>はり実技</p> <p>きゅう実技</p> <p>全身調整</p>
成績評価	出席、授業態度及び期末試験の成績にて評価する。		
教科書・副読本	実習に於いて各自が必要かと思う書籍を必ず持参する事(例:東洋学臨床論 絡経穴概論など)		
受講上の注意	半年後免許者になっているということを想定し、真摯な態度で授業に参加する事。また、指示以外のことはしない事。また4/5以上出席できなかった者は期末試験の受験資格を失う。口述したことは書き記すよう気を付けること。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:越川 善子

科目名・対象学科	総合演習Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
リハビリテーションの復習を行い、知識を定着させること。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
第1章 リハビリテーション総説 A. リハビリテーションと障害 B. リハビリテーション医学と医療 C. 障害の評価 D. 医学的リハビリテーション 第2章 各疾患のリハビリテーション A. 脳卒中のリハビリテーション B. 脊髄損傷(四肢麻痺、対麻痺)のリハビリテーション C. 切断のリハビリテーション D. 小児のリハビリテーション E. 骨関節疾患のリハビリテーション F. 関節リウマチのリハビリテーション G. 末梢神経障害のリハビリテーション H. パーキンソン病のリハビリテーション I. 呼吸器疾患のリハビリテーション J. 心疾患のリハビリテーション 第3章 運動のしくみ A. 運動学の基礎 B. 身体各部の機能			リハビリテーションの概念 障害のとらえ方 リハビリテーションの分野 リハビリテーションの評価 理学療法、作業療法 各疾患の特徴と障害 各疾患のリハビリテーション 運動学と機能解剖 歩行
成績評価	筆記試験 出席日数等		
教科書・副読本	リハビリテーション医学(第4版) 東洋療法学校協会編		
受講上の注意	予習、復習をすること		

平成31年度 講義計画書

担当講師:大野 亜二茂

科目名・対象学科	東洋医学臨床論Ⅴ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
臨床医学総論、臨床医学各論(整形外科疾患)を理解修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1) 関節疾患 ・五十肩、変形性関節症について理解できる。 2) 骨代謝性疾患 ・骨代謝性疾患、骨腫瘍について理解できる。 3) 筋・腱疾患 ・筋炎、腱鞘炎について理解できる。 4) 形態異常 ・先天性疾患、側弯症について理解できる。 5) 脊椎疾患 ・脊椎疾患について理解できる。 6) 外傷・スポーツ障害 ・骨折や脱臼、スポーツ障害について理解できる。 7) 診察の概要・診察の方法 ・診察の意義や医療面接、打診や聴診について理解できる。 8) 生命徴候の診察・全身の診察 ・バイタルサイン、体型などの全身所見について理解できる。 9) 局所の診察・神経系の診察 ・頭部や顔面などの局所診察、腱反射などの神経系の診察について理解できる。 10) 運動機能検査・臨床検査法 ・関節可動域などの運動機能検査や一般検査について理解できる。			肩関節周囲炎 変形性膝関節症 骨粗鬆症、骨軟化症 骨肉腫 ばね指 ドケルバン病 先天性股関節脱臼 側弯症、外反母趾 椎間板ヘルニア 脊柱管狭窄症 骨折、脱臼 上腕骨外側上顆炎 医療面接の注意事項、SOAP 清音、鼓音、濁音 体温、呼吸、血圧、脈拍 顔貌、顔色、異常歩行 頭部、顔面部、口腔 表在反射、深部反射 運動麻痺 尿検査、血液検査
成績評価	定期試験の結果で評価する。		
教科書・副読本	臨床医学各論、臨床医学総論、オリジナルプリント		
受講上の注意	3分の2以上の出席に達しないものは受験資格を失う。授業中は私語厳禁。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 稲田 久

科目名・対象学科	臨床はりきゅう学Ⅱ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
下記の授業計画に含まれる衛生学・公衆衛生学の内容を復習し、国試の問題に対応でき、卒後に応用できるものとする。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
衛生・公衆衛生学の定義、健康 ライフスタイルと健康 環境と健康 産業保健 精神保健 母子保健 成人・高齢者保健 感染症とその対策 消毒法 疫学と保健統計			生態系の基礎 物理学的環境要因 化学的および生物学的 環境要因
成績評価	期末試験による		
教科書・副読本	衛生学の教科書		
受講上の注意	私語と居眠りは厳禁。教科書持参は必須。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 稲田 久

科目名・対象学科	臨床はりきゅう学Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
臨床医学総論全体と下記の授業計画に含まれる臨床医学各論の内容を復習し、 国試の問題に対応でき、卒後に応用できるものとする。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
第5章(腎・尿路疾患)			糸球体腎炎、腎不全、感染症 腫瘍
第9章(循環器疾患)			冠動脈疾患、動脈疾患 血圧異常、心不全
第10章(血液・造血器疾患)			赤血球疾患 白血球疾患 リンパ網内系疾患 出血性素因
第11章(神経疾患)			脳血管疾患 感染性疾患 変性疾患 認知症性疾患
第12章(リウマチ性疾患・膠原病)			リウマチ性疾患・膠原病
診察の概要・方法 バイタルサイン 全身の診察 局所の診察 神経系の診察 運動機能検査			
成績評価	期末試験による		
教科書・副読本	臨床医学各論と臨床医学総論の教科書		
受講上の注意	私語と居眠りは厳禁。教科書持参は必須。		

平成31年度 講義計画書

担当講師:武井 航

科目名・対象学科	総合演習Ⅲ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	演習
一般目標(GIO) 2年・3年時に学習した臨床医学各論の範囲のうち、第2章・第3章・第4章・第6章・第7章・第11章について理解を深め、鍼灸師になるために必要な医学的知識を修得する。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等 臨床医学各論 第2版(東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社)を基本とし、プリント等を配布して授業を行う。また、四者択一形式の問題なども同時に配布する。学習範囲は第2章・第3章・第4章・第6章・第7章・第11章とする。 第2章 消化器疾患 ・消化器の構造と機能を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。 第3章 肝・胆・膵疾患 ・肝臓・胆嚢・膵臓の機能を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。 第4章 呼吸器疾患 ・呼吸器の構造と機能を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。 第6章 内分泌疾患 ・内分泌機能を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。 第7章 代謝・栄養疾患 ・人体の代謝機能を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。 第11章 神経疾患 ・神経系の構造と機能を理解するとともに、疾患の特徴を理解し説明できる。		学習のキーワード 胃・十二指腸疾患 腹膜疾患 肝炎 肝硬変 胆嚢炎 急性膵炎 COPD 気胸 肺がん 下垂体疾患 欠乏症 過剰症 糖代謝異常 脂質代謝異常 脳血管疾患 筋疾患 脳脊髄腫瘍 認知症	
成績評価	定期試験の成績によって評価する。		
教科書・副読本	臨床医学各論 第2版(東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社)		
受講上の注意	全出席を基本とし、全授業時間の3/2以上の出席を満たさない場合には定期試験の受験資格を失う。		

平成31年度 講義計画書

担当講師: 正木 基之

科目名・対象学科	東洋医学臨床論Ⅳ		鍼灸師科
学年・実施学期・講義形式	3年	後期	座学
一般目標(GIO)			
東洋医学概論および臨床論の範囲で特に国家試験で出題頻度の高い範囲や臨床に係る範囲を中心に学習する。特に整形外科的疾患に対する鍼灸アプローチを学ぶ。			
授業計画・内容・到達目標(SBOs)・学習のキーワード			
講義内容・具体的到達目標(SBOs)等			学習のキーワード
1) 頰肩腕症候群の治療 頰肩腕痛の分類から検査法・治療法の選定までを理解する。			頰部神経根症 胸郭出口症候群 肩関節周囲炎
2) 腰下肢痛の治療 腰下肢痛の分類から検査法・治療法の選定までを理解する。			椎間関節性腰痛 大腿神経痛 坐骨神経痛
3) 膝関節痛の治療 膝関節痛の分類から検査法・治療法の選定までを理解する。			変形性膝関節症 ジャンパーズニー ランナーズニー 鷺足炎
4) その他疼痛を主訴とする整形外科的疾患の治療 鍼灸臨床で遭遇しやすい整形外科疾患に対し、検査から治療法の選定までを理解する。			手根管症候群 シンスプリント コンパートメント症候群 その他
成績評価	期末試験の結果にて判定する。		
教科書・副読本	教科書: 新版 東洋医学概論 (東洋療法学校協会編) 副読本: 経絡経穴概論 / 東洋医学臨床論 / 配布プリント		
受講上の注意	3分の2以上の出席に達しないものは受験資格を失う。		